

2022 年度 学位論文

<不安定性>の中に生きる

工業団地周辺に流入してきた労働者たちの主体性  
—インドネシアのジャカルタ郊外ニュータウンを事例に—

慶應義塾大学 環境情報学部 環境情報学科 4 年  
学籍番号：71841119  
氏名：浦野里彩

## 要旨

本稿は、インドネシア共和国のジャカルタ郊外の工業団地周辺に流入した労働者を対象として、インタビューを中心としたフィールド調査を元に、彼らを<不安定性>の中にある存在と位置づけ、その主体性を探る試みである。インタビュー内容を分析した結果、彼らは<不安定性>の中に存在しながらも主体的に自らを<安定>的な存在として言語化し、意識下に置いていることが分かった(第2章)。第3章と第4章ではその<安定性>を体現するためにどのような<道具>を用いているのかを明らかにする。その<道具>として見出されたのはイスラーム観と労働観との価値観であり、それらをここでは主体性に焦点を置くとの意味で<道具的イスラーム観>と<道具的労働観>と名付けた。第3章では、<道具的イスラーム観>の具体的な構成要素を詳細なインタビュー内容を引用しながら論じる。構成要素として見出されたのは主に4点であった。具体的には、第一に、「足るを知る」とのインドネシア語では cukup との概念、第二に、現状を柔軟に受容するために神に感謝すると共に現状を神の定めたものとして理解・受容すること、第三に、ポジティブな事象は神の恵みとして時間的・空間的に制限されずに存在すると考えることで結果に囚われず、現状を正当化することが出来ること、第四に、イスラーム以外の知見の応用であった。第4章では、<道具的労働観>として大きく2つ分析され、第一に、労働に関して地位的移動をする根拠として先行研究にみられなかった「自由」を求めるとの選択肢が追加された。第二に、ここでは<非特殊的労働>と名付けられた、他行為と差別化され得ない労働のあり方が見出された。具体的には、労働の流動性、軽率性、ライフと切り離されない内包された労働、そして「役に立つ」感覚が反映されない労働である。これらの<道具的イスラーム観>と<道具的労働観>は、彼らを<不安定性>の中にありながらも<安定>する自分として認識させるに至る<道具>として用いられる価値観であると結論づけられる。

キーワード：インドネシア、工業団地、労働観、主体性、インフォーマルセクター

## 目次

第1章 序論.....	4
1-1 研究背景と主題.....	4
1-2 対象と方法論.....	4
1-3 <不安定性>の定義づけとその意義.....	6
1-4 先行研究の検討.....	7
第2章 <不安定性>の中の<安定>の語り .....	10
第3章 <道具的イスラーム観> .....	12
3-1 「足るを知る」: <i>cukup</i> .....	12
3-2 現状の柔軟な受容: <i>syukur/ikhlas</i> .....	14
3-3 神の恵みが訪れるとき: <i>untung/berkat/rezeki</i> .....	16
3-4 イスラーム以外の知見.....	17
3-5 小括.....	18
第4章 <道具的労働観> .....	19
4-1 新たな選択肢: 自由さ.....	19
4-2 <非特殊的労働> .....	21
4-2-1 流動性.....	21
4-2-2 軽率性.....	22
4-2-3 ワークライフ.....	24
4-2-4 「役に立つ」場所と方向性.....	25
4-3 小括.....	26
第5章 結論と限界.....	26
謝辞.....	28
参考文献.....	28

付録.....	29
表一覧.....	29
写真一覧.....	31
インタビュー文字起こし.....	32
Aさん.....	32
Bさん.....	41
Cさん.....	50
Dさん.....	58
Eさん.....	63
その他のフィールドワークに関する聞き取りメモ.....	72

## 第1章 序論

### 1-1 研究背景と主題

本稿は、インドネシア共和国のジャカルタ郊外における工業団地周辺に流入してきた労働者たちを対象とし、〈不安定性<sup>1</sup>〉のある状況下における主体性を有した彼らの様相を、インタビューを中心としたフィールド調査を通じて明らかにする試みである。昨今、グローバル化の流れを受け、東南アジアでは工業団地の進出が著しい（内藤ほか 2016）。インドネシア共和国も例に漏れず、工業団地の進出による周辺社会の変容が多く指摘されてきた（内藤 2008; 小池 2010; 大井 2011）。この周辺社会の内部には、現在まであまり焦点を当てられてこなかった工業団地周辺に新たに流入してきた労働者たちが存在する。彼らは、グローバル化や資本主義化から引き起こされる現代社会特有の〈不安定性〉に生きることに加え、彼らの存在そのものを脅かす〈不安定性〉をも内在化して生きていると考えられる<sup>2</sup>。本研究では、彼らを以上 2 つの〈不安定性〉に生きると位置付け、それらの〈不安定性〉の中で彼らは自らの状況をどのように解釈して生きているのか。また、その解釈や受容のプロセスにおいてどのような〈道具〉を駆使し、いかなる主体性を持って生きているのかを明らかにすることを目的としている。

### 1-2 対象と方法論

本研究の対象は、地理的かつ地位的に流動したインドネシア共和国のジャカルタ郊外の工業団地周辺労働者 5 名<sup>3</sup>である。詳細に述べると、工業団地に雇用されているあるいは工業団地に住んでいるなどといった、工業団地との直接的な関係性がなく、またその地域出身でもないとの地理的に流動した労働者であり、かつ過去から現在にかけてフォーマルセクターとインフォーマルセクター間との地位的にも流動した工業団地周辺労働者である。後者に関して、本研究では対象者の前職と現職の比較において、前職はよりフォーマルセクターに分類されるような雇われの職業に、現職はよりインフォーマルセクターに分類されるような職業に従事しているということである。ただ、この「フォーマルセクター」と「インフォーマルセクター」といった分類についてここで留意されたいのは、この分類に関する先行研究における数多くの議論<sup>4</sup>から筆者は、本分類が二項対立として扱われる事象であるよりもむしろ、「個人」との一時間軸の中にグラデーショナルな連続した様相として見ることの出来るものであり、その流動性を自明とするミクロな視点の必要性を見出した。よって、本

---

<sup>1</sup> 定義に関しては、第1章 1-3「〈不安定性〉の定義づけとその意義」を参照のこと。

<sup>2</sup> 本議論は第1章 1-3「〈不安定性〉の定義づけとその意義」を参照のこと。

<sup>3</sup> 属性の詳細は付録の【表1】に整理した。

<sup>4</sup> 例えば、今野（1989）は「インフォーマルセクターの方が必ずしも収入が低いわけではない」とフォーマルセクターとインフォーマルセクター間の経済的差異に対して疑問を呈した。また、宮本（1999）は「都市内労働力市場をフォーマルセクターとインフォーマルセクターとに区別する二重構造論的把握の問題点を指摘」し、吉原, Dwianto（2001）は「ジャカルタ市当局がインフォーマルセクターに二重基準を適用せざるを得ないほどにインフォーマル労働力が多層性を帯びている」と述べている。加えて、大井（2013）においては、「フォーマルセクターからインフォーマルセクターに移動することは相対的に困難ではない」とセクター間移動の可能性を指摘されている。

稿において対象者の地位的流動性に言及する際には、「フォーマルセクター」と「インフォーマルセクター」とのはっきりとした分類への言及は行わず、対象者個人の時間軸の中で地位的に流動したこと自体に焦点を当てるものとする。

以上のような＜地理的流動性＞かつ＜地位的流動性＞を有するとの特徴を持った対象者にアプローチすることを目的として調査地を選定した。ジャカルタ郊外ニュータウンはその地域特性から先の目的に適していると判断される。ここで、調査地について詳しく述べておこう。

本調査地は、インドネシア共和国のジャカルタ郊外に位置する工業団地周辺の郊外ニュータウンである。郊外ニュータウンは一般的に、過剰都市化モデル<sup>5</sup>と結びつけられることが多い。しかし、インドネシアを含む東南アジアのニュータウンはそれに当てはまらないと言われている。大井(2011)は、東南アジアの郊外化は、世界都市システムの中で海外輸出拠点として整備された工業団地や単一の核として、そこに隣接する形で働き手を収容する郊外ニュータウンが形成され、つまり、もともと農村地域であったところに工業団地と郊外ニュータウンの方から移住してきたと指摘しており、その例として、幹線道路 Jakarta-Cikarabek 線に隣接した2つのインターチェンジにある MM2100(日系)、EJUP(日系)、BIIE(韓国系)、DELTASILICON(インドネシア系)、KIJA(インドネシア系)との5つの工業団地と、LIPPO CIKARANG と JABABEKA という2つのニュータウンが集中しているジャカルタ西部ブカシ地域を挙げており、本調査地もそこに属する。

このような特徴を持つ本調査地は、＜地理的流動性＞を有する労働者が多く存在することはもちろん、＜地位的流動性＞を持った労働者も存在し得るだろうと予測される。しかし、何故それが本研究で肝要であるのか。それは、この＜地理的流動性＞と＜地位的流動性＞が＜不安定性＞の議論に関連するからである。これに関しては次節で詳しく述べる。

また、本研究の方法論として、インタビューを中心としたフィールド調査を用いた。調査期間は2022年7月26日から8月24日までの約1ヶ月である。その期間中、インタビュー実施日は、対象者5名のうち3名(A, B, Cさん)が2022年8月4日、1名(Dさん)は2022年8月8日、残り1名(Eさん)は2022年8月22日に行なった。インタビューに用いる言語としては、全てインドネシア語を用いた。半構造化インタビューに近い形で行い、事前に大まかな質問項目を設定したが、その場の状況に応じて臨機応変に他の質問も交えつつ話を展開させた。質問項目で中心となるのは、労働観や生き方に関する内容である。彼らの＜地理的流動性＞と＜地位的流動性＞を調査するために、過去から現在にかけての彼らの仕事に関するライフプランやその選択に影響を及ぼしている価値観に焦点を当てるような質問内容を作成した<sup>6</sup>。事前に考えた質問項目のインドネシア語と日本語訳については付録【表2】を参照されたい。加えて、対象者とのラポール形成に関しては、短期間の滞在であってもラポール形成がしやすいように、筆者が既に知り合いであったインドネシア人

<sup>5</sup> 都市の過密化などから逃れ、理想の生活を求めた中間層以上の人々の移動により展開する郊外化のこと。(大井 2011)

<sup>6</sup> 質問内容の作成にあたっては、見田(1967)を参照した。

がよく通っている屋台等にアプローチをした。ただ、Eさんに関しては、1ヶ月の滞在中に筆者が何度か通い、関係性を作った状態でインタビューを行なった。

### 1-3 <不安定性>の定義づけとその意義

前節において、対象となる労働者の属性として<地理的流動性>と<地位的流動性>が肝要であり、それが<不安定性>の議論に関連すると言及された。本節では、本稿における<不安定性>の定義について詳しく論じたい。

主題の中で言及した通り、本稿における<不安定性>には2種類ある。

第一に、<外的不安定性>である。簡潔に述べれば、近代化やグローバル化、資本主義化による変容に晒されていると言える工業団地周辺社会において、そういった客観的な社会条件によって引き起こされる不安定な状態である。これは、Giddens(1990=1993)の「信頼」に関する議論に則して言えば、家族や地域コミュニティといった前近代的な信頼システムにも、雇用の安定性や貨幣蓄積といった近代の信頼システムにも依拠できない状態であると定義できる。彼によれば、近代の信頼関係は、脱埋め込みを遂げた貨幣や市場といった《抽象的システム》<sup>7</sup>に帰属している。それは、悲観的に見ればMarx(1867=1969)が主張する近代化の影響で分業によって疎外される人間の存在を意味すると考えられるだろう。そういった社会の近代化との変容の波に現在進行形で晒されていると言える場に存在することは、つまり、前近代のシステムと近代のシステムの双方の間を揺らいで存在している状態であると言える。この揺らぎを<外的不安定性>と定義する。

第二に、<内的不安定性>である。存在論的安心<sup>8</sup>の減退と言える概念であり、主観的な自己意識やアイデンティティの揺らぎであるとも言えるだろう。これは、現代においては様々な分野で言及されており、例えば、Butler(2015=2018)に言及されるマイノリティとしての不安定性を有する個人や、Hochschild(2016=2018)で指摘された自国に所在を感じなくなっていく情勢の中でその不安定性に怯え行動する人々と繋げて考えることが出来る。本研究では、この存在論的安心の減退に影響すると考えられる先述の<地理的流動性>と<地位的流動性>をこの定義に含めることとする。なぜなら、これら二つの流動性を有することはつまり、Giddens(1990=1993)で言われるような地域共同体や親族関係から切り離され得る状況にあると言えるからである。ここでもう一度、二つの流動性について整理すると、<地理的流動性>とは、本稿においては他地域の出身、あるいは過去に何度か出身地以外に移り住みながらも現在は本調査地の工業団地周辺に流入するといった事象を指す。また、<地位的流動性>とは、「フォーマルセクター」や「インフォーマルセクター」とい

<sup>7</sup> これは、「象徴的通標と専門家システムをひとまとめに (Giddens 1990=1993;102)」した概念であり、「時空間の無限の拡がりを超えて関係を安定化させる手段 (同上 1990=1993;129)」である。

<sup>8</sup> 《存在論的安心》とは、「ほとんどの人が、自己のアイデンティティの連続性にたいして、また、行為を取り囲む社会的物質的環境の安定性にたいしていただく確信」であり、また、「信頼という概念に取ってきわめて重要な、人とものごとの有す信憑性にたいする意識は、存在論的安心感の基盤をなしており、それゆえ両者は心理学的に密接に関係している」と定義される。(Giddens 1990=1993;116,117)

った仕事における地位の二項対立を一個人の連続的な事象として捉えたとき、その連続性の中で流動することである。これら二つの流動性は、一個人の中で地理的にも地位的にも一定の安定した所在を持たないことから、それが人生の選択として個人に依拠するとはいえ、再帰性の中で自己を作り得る安定的な事象との繋がりを希薄にするとの点で存在論的安心の減退を推進する役割を担い得る。よって、その二つの流動性を有することを<内的不安定性>に含めることとする。

以上、<外的不安定性>と<内的不安定性>を総括して<不安定性>と呼ぶこととする。また、この<不安定性>に生きる労働者に焦点を当てることは、つまり、グローバル化の流れを受ける工業団地とその周辺社会の変容との現在進行形の強制力の中でどう向き合い、どう生きるか、との事象に焦点を当てることと同義であると言えるだろう。グローバル化や資本主義化の流れは、発展途上国の人々を変容「させる」と考えられているが、果たして本当にそうだろうか。彼らの主体性がそこにどう体现されるのかを明らかにすることに、この<不安定性>との事象を前提とした研究の意義が見出される。

#### 1-4 先行研究の検討

本節では、4つの観点から先行研究を検討し、本研究との差異に言及したい。

第一に、インドネシア共和国における工業団地や郊外ニュータウンを対象地域とした先行研究である。例えば、内藤（2008）は、日系工業団地と周辺社会のコミュニティ間の問題とその解決に焦点を当てている。日系工業団地に限らずジャカルタ首都圏の工業団地の歴史と政策的な側面にも言及しつつ、特に日系工業団地との企業進出による在地社会への影響を考察し、最終的にその負の影響を最小限に食い止め両者の共生を実現していくための方途を探る研究として位置づけた。また、内藤、倉沢ほかによって2016年から2020年にかけて行われた研究では、工業団地としてインドネシア・カラワン県を対象に、工業団地進出による地域社会の混在化が進んでいる状況を明らかにした上で、それがコミュニティ内部における工場労働者用アパート群の立地や小規模な商業従事者の流入によってもたらされていることを指摘している。さらに、先述の本調査地に言及した際に、東南アジアの郊外ニュータウンが工業団地の進出によって形成されるとの特殊的なあり方を指摘したが、インドネシアの郊外ニュータウンに関して、大井（2011）は工業化の過程で都市-農村両者が分断されずむしろその関係性を強めていると述べ、大量の労働者を必要とする工業団地のメガシティの文脈で形成されながらも、周辺の村によっても支えられているとの構造を明らかにした。これらの研究が焦点を当てているのは、工業団地とその在地社会の関係性であり、特に工業団地進出による農村等への影響や変容にフォーカスしていると言える。要するに、以上の研究は、工業団地に関連なくまた農村といった在地社会に属さない流入者に焦点を当てていないとの点で本研究が差別化される。加えて、大井（2020）は、ジャカルタ郊外住民に対する質問紙調査によって、ニュータウン内外に多数の雇用労働者が流入していることや工場労働のために専門学校卒以上の人材が広くジャワ島内から集められているなどの

状況を提示し、インドネシア首都圏における国内外需要に対応するための工業団地進出による雇用機会の生産と非正規雇用の多さが労働者の移動を促している可能性を示唆した。その上で、過剰都市化論による都市で雇用労働に就けない/就かない余剰労働力がインフォーマルセクターとして焦点化されていた状況に疑問を呈し、生産単位・従業上の地位ともにフォーマルな位置付けの存在への焦点化の意義を提示した。このような研究は、労働者の流入に言及しているものの周辺労働者には言及していないことに加え、〈地位的流動性〉を示唆しながらも、個人とのミクロな視点でそれを観測はしていないとの点で、本研究とは異なる。加えて、そういった研究は管見の範囲では見当たらない。

第二に、本研究は〈地位的流動性〉に関する議論を含有することから、インフォーマルセクターに焦点を当てた先行研究にも言及しておきたい。まず、東南アジアに限らずインフォーマルセクター研究自体に焦点を当てその系譜を追った研究として、松園（2006）によれば、80年代以降に、事例研究などを通じてインフォーマル・セクターの多様性が明らかになってきており、彼らが必ずしも低収入ではないことや途上国都市における雇用や貧困層の生活の支えであることなどを受け、開発政策のターゲットの一つと位置付けられた。80年代後半以降には、グローバル化の影響によりその様相が変化する。広範な労働がインフォーマル化する現象が起き、もはやインフォーマル・セクター論は発展途上国の都市化のある過程だけに限定された議論であるために有効性がないと考えられるとの議論も出てきた。途上国の都市インフォーマル・セクターのみに注目するのではなく、都市－農村関係の中に位置づけたインフォーマル・セクターや労働のインフォーマル化を含む「インフォーマル経済」の問題として議論する必要性などを指摘している。また、インドネシアにおけるインフォーマル・セクター研究では、大井（2013）において、首都ジャカルタ郊外のブカシ県を調査地として、新たにインフォーマルセクター成員の時間帯による差異から、兼業という視角によって、フォーマルセクターとインフォーマルセクターの成員の部分的重なりが提示された。これらの研究はインフォーマル・セクター研究に位置付けられながらも、方法論としてフィールドワークを用いたようなミクロな調査研究ではない。一方で、間瀬（2010, 2011, 2015 など）は、インドネシア中部ジャワを中心としたインフォーマルセクターのモノ売りとして出稼ぎを志す人々などへの緻密なフィールドワークを通して、地縁・血縁を最大限に利用しつつもその他の情報も駆使して常に自らに適した「最もカネになる」経済的利益を優先した出稼ぎ先や出稼ぎ業種を求めているとの新たな様相を明らかにした。ただ、本研究にあるような工業団地に流入してきた人々を対象としていないことに加え、その〈地理的流動性〉や〈地位的流動性〉には焦点を当てておらず、そのような研究は管見の範囲では見つからなかった。

第三に、〈不安定性〉の中にある自己に関する議論は、先にも述べられたように、大変に多種多様な分野から論じることの出来る事象であるが、中でも、理論的枠組みを提示したGiddens(1990=1993)は、〈内的不安定性〉の定義の際に取り上げた存在論的安心に結びつく信頼との概念について、「他者にたいする信頼は、信憑性にたいする内面的感覚の形成と

ともに、そうした内面的感覚がその後の自己の安定したアイデンティティの基盤を形づくっていく(同上 1998=1993;120)」とし、他者や他物との相互的な関係において再帰的に安定した自己を位置付けるとの見方を示した上で、信頼を伴う環境として、前近代的なそれと近代的なそれとの差異を指摘した。前近代文化は、局域化した信頼が最も重要であり、信頼を伴う環境には、《親族関係》やなじみ深い生活環境である《場所》としての《地域共同体》、《宗教的宇宙観》や可逆的時間における過去志向があるとされる。一方、近代文化の信頼関係は、脱埋め込みをとげた抽象的システムに帰属しており、社会的きずなを安定化させるための《对人的関係性》や時空間の無限の広がりを超えて関係を安定化させる手段としての《抽象的システム》、そして未来志向的思考がその信頼を伴う環境として示された。これと照らし合わせて本研究を概観すると、本研究の対象は、この前近代と近代との枠組みの間における揺らぎの中に存在すると位置付けられる人々を対象としていることが分かる。Giddens が指摘するカテゴリーのどちらかに明確に属さない人々の主体的な様相を見ることは、<不安定>な自己に関する議論に新たな示唆を加えることが期待されるだろう。

第四に、労働と宗教の関連に関する先行研究に言及する。これはインドネシア共和国が国是五原則として掲げられたパンチャシラ (Pancasila) を元に作られた国家であり、その一つに「唯一神への信仰 (Ketuhanan Yang Maha Esa)」がある<sup>9</sup>ことから、生き方や労働に関する問いを投げかけられたとき、対象者たちが宗教、つまりここではイスラームに関連する事象を表現する可能性が大いにあり得るからである。労働と宗教の関連を明確に示した先行研究として、Weber(1920=1989)には必ず言及すべきであろう。

「財産のある者も労働せずに食ってはならない。なぜなら、自分の必要を充たすために労働することはないとしても、貧者と同様に従わねばならぬ神の誠命が存在するからなのだ。けだし、神の摂理によってだれにも差別なく天職である一つの職業 (calling) がそなえられていて、人々はそれを見わけて、それにおいて働かねばならぬ。かつ、そのばあい、天職はルッター派とは異なって、人々が適従し甘受しなければならぬ聖慮ではなく、むしろ、神の栄光のために働けとの個々人にたいする誠命だったのだ。」(Weber 1920=1989;224,225)

以上の箇所からは、禁欲的なプロテスタンティズムの天職倫理と労働や金を稼ぐこととの結びつきが明確に示されている。本研究と引きつけて考えれば、労働観や自らの仕事に関し、宗教に関連する考え方をを用いて主体的に解釈し体現している様相は、本研究からも見ることが出来るだろう。しかし、異なることは、本研究の対象者が信仰しているのはイスラーム

---

<sup>9</sup> 小林 (2014) は、スカルノが「世界には多数の独立国家があり、それぞれの国家はそれぞれ独自の世界観や国家哲学の上に樹立されているという認識を示し、インドネシアという独立国家が国是とするべき世界観や国家哲学は何かと問いかけ」、「五原則、すなわちパンチャシラを国是としてあげ」、その五原則をスカルノが演説で発言した順に示すと、「インドネシア民族主義 (Kebangsaan Indonesia)、国際主義または人道主義 (Internasionalisme atau Perikemanusiaan)、全会一致または民主主義 (Mufakat atau Demokrasi)、社会的反映 (Kesejahteraan Sosial)、唯一神への信仰 (Ketuhanan Yang Maha Esa) となる」と示した。

であり、その点で Weber が論じた結果とは異なる示唆が導き出されることが期待される。

## 第2章 <不安定性>の中の<安定>の語り

本章から第4章にかけて、インタビューを中心としたフィールド調査で得られた対象者5名のデータ分析に基づいた結果と考察をまとめる。ここで再度、本研究の主題を簡潔に述べると、工業団地に流入してきた労働者たちが、グローバル化や資本主義化による<外的不安定性>に加え、<地理的流動性>と<地位的流動性>による存在論的安心の減退との<内的不安定性>という2種類の<不安定性>のある状況下において、自らの置かれた状況をどのように解釈して生き、何を<道具>として用いながら行為者として存在するのかを明らかにしていく。本章では、彼らが自らの置かれている状況をどのように言語化し、意識下に置いているのか関し、詳細なインタビューデータを参照しながら論じる。

まず、彼らは自らの状況をどう意識しているのかをインタビュー結果に基づいて分析していく。そこで見出されたことには、5人が自らの仕事に関する状況や今の人生について語る時、nyaman「快適さ<sup>10</sup>」、senang「嬉しい、楽しい、愉快、好き、幸せ」、menikmati<sup>11</sup>「満喫する、楽しむ、エンジョイする、享受する」、enjoy「エンジョイ<sup>12</sup>」、happy「ハッピー」を頻繁に登場させる。これらは全てその状況を肯定的に表現する言葉ばかりである。例えば、今の仕事が楽しいかと尋ねられた際、Bさん、Dさん、Eさんはそれぞれ以下のように答える。

すごく楽しんでる (menikmati) よ。すごく楽しんでる (menikmati) し、なんだろうエンジョイ (enjoy)。めっちゃエンジョイ (enjoy) してる。<sup>13</sup>

[Bさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

めちゃくちゃ楽しい (menikmati) よ。<sup>14</sup>

[Dさん 2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて]

めっちゃ楽しい (nikmati) よ。めっちゃ楽しい (nikmati)。(中略) うん、めっちゃ楽しんでる (menikmati)。<sup>15</sup>

[Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

---

<sup>10</sup> これ以降、本稿でインドネシア語の単語の日本語訳を記す際には、佐々木 (2013) の『最新インドネシア語小辞典』から引用することとする。

<sup>11</sup> menikmati と同じ意味だが、インフォーマルなバージョンである nikmati も含む。

<sup>12</sup> 英語の意味は、単語の発音をそのままカタカナで記載し、意味に換える。

<sup>13</sup> 原語 (インドネシア語): “Menikmati sekali. Menikmati sekali terus apa ya enjoy. Enjoy banget.”

<sup>14</sup> 原語 (インドネシア語): “Sangat sangat menikmati.”

<sup>15</sup> 原語 (インドネシア語): “Nikmati banget. Nikmati banget.(中略) iya menikmati banget.”

彼らは皆、肯定的な表現を用い、その単語を何度か繰り返す上、その単語に *sangat* や *sekali*、*banget*<sup>16</sup> といったその度合いが高いことを示す副詞をつけて強調しながら答えた。また、明瞭に過去と現在を比べ、現在の良さを表現しているデータも存在する。Cさんは金銭を求めることに奔走していた時期と比較して今の生活を以下のように語る。

今はこんな風に普通に生活してるだけ、ただ食べるだけ。なのに楽しい (*senang*)。何が違うのさ。<sup>17</sup>

[Cさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

加えて、Aさんは、筆者が困難なことや嫌な思いをすることはないかと尋ねた際、「ないね。ここではないよ。全部が快適 (*nyaman*)」<sup>18</sup>と「ここでは」との、今を強調するような表現を用いて述べ、前職から現職になった時に感じたことを以下のように表現する。

でもお金を貯めている間に、インドネシアがやっぱり心地良く (*nyaman*) 感じてさ。お金は少なくとも快適 (*nyaman*) なんだ、ただそれだけ。<sup>19</sup>

[Aさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

インドネシアを離れて生活していたAさんは、元々はお金が貯まった後に前職である船のクルーの仕事に戻るつもりであった。しかし、現職で働き始め、その快適さや心地良さ (*nyaman*) に惹かれ、お金よりも快適さをあえて選択していると言う。CさんもAさんも同じように、過去と現在を比較し、お金を目的にしていた過去と快適さや楽しさで満足を得た現在を語っていると言える。

以上のような5人の語りは、彼らが<不安定>な状況とは裏腹に、精神的に満たされ安定している自分を言語を通して表現し、意識下に置いていると言え、つまり、<不安定性>と対比させ<安定性>を表現していると考察され得る。この<安定性>の定義としては、先行研究の検討で言及した Giddens(1990=1993)が言うところの、時間的空間的隔たりを無視し、仮にそうした不安が現実のものとなった場合に生きる上での不安を遮断するとの役割を担う「信頼」がある状態であると言える。要するに、彼らは本研究で先に位置付けたように<不安定性>を有しているとの点で、不安が現実のものとなっているにも関わらず、それを遮断し得る何らかの<道具>を用いて<安定性>を体現していると分析され得る。このように、自らの精神的な安定を言語化を通して意識下に置く「信頼」のある状況のことを<安定性>とここでは表現する。

---

<sup>16</sup> *sangat* 「非常に〜」 *sekali* 「とても…」 *banget* (ジャワ語) 「とっても、ひどく」

<sup>17</sup> 原語 (インドネシア語): “Kalau sekarang hidup begini biasa aja cuman makan tapi senang. apa bedanya.”

<sup>18</sup> 原語 (インドネシア語): “Gak. Gak ada di sini. Nyaman semua.”

<sup>19</sup> 原語 (インドネシア語): “Tapi selama mau nyari uang tapi saya rasanya nyaman di Indonesia sih meskipun uangnya sedikit tapi nyaman, itu aja.”

では、この<不安定性>の中にある自分を<安定>へと導くために、彼らはどのような<道具>を駆使し、主体性を持って生きているのだろうか。この問いを明らかにするために、インタビュー結果を分析したところ、<道具>として作用していると分析できる彼らの価値観を見出すことが出来た。それらを本研究では大きく 2 つに分類し、ここでは<道具的イスラーム観>と<道具的労働観>と名付けることとする。この<道具的>との文言は、彼らがそれを戦略的に主体性を持って使用していることを強調する。第 3 章において、まず<道具的イスラーム観>に関してその定義と詳細な内容を提示し、第 4 章で<道具的労働観>に関して論じる。<sup>20</sup>

### 第 3 章 <道具的イスラーム観>

<道具的イスラーム観>とは、その名の通り、イスラームを信仰している対象者 5 名が、<不安定性>の中で安定性を体現していくために<道具>としてイスラームの価値観を用いているとの様相を示している。ここで留意されたいのは、彼らのイスラーム的な価値観や考え方がイスラームとの宗教の教えとして正しいか否かは重要ではない。彼らが自らの<不安定>な状況を主体的に<安定>していると認識するに足る<道具>としてイスラーム的な価値観を利用し、それを言語化との形で意識下に置いていることに意味がある。加えて、これを<道具的宗教観>としない理由は、イスラームはその存在自体が社会や生活に根差した形で存在し、宗教との枠組みだけでは捉えられない様相を有していると考えられる上、その根本には唯一神アッラーと一個人との垂直的思考が存在するが故に、その解釈や横軸としての他者あるいは他物との繋がりや関係性は人それぞれであることが自明とされているからである。<道具的イスラーム>としないことも同じ理由である。

以上に述べたような<道具的イスラーム観>の内容として、インタビューデータから分析されたものを大きく 4 つに分類し、データからの引用を用いて論じる。

#### 3-1 「足るを知る」: cukup

第一に、インドネシア語で cukup と表現される概念に関して言及する。日本語では「充分である」との意味である。ここでは、彼らが<不安定性>の中にいながらも、イスラームに関連づけてこの概念を用いることで、主体的に自らを<安定>の中に位置付けているとの cukup の<道具的>様相を見る。具体的に、例えば B さんは cukup との概念を用いて以下のように表現している。

cukup っていうのは心から神にゆだねることだよ。他人を見たりせず、何かを買い続けたり、他人を見てこれ買わなきゃってなったり。なんだろう左右を見ない（他人と比較し

---

<sup>20</sup> <道具的イスラーム観>を先に据えたのは、イスラームそれ自体の社会生活に根差した性格ゆえに、労働観にもイスラームが関連しているためであり、その中でも明確に労働に対する認識として分析され得る事象を第 4 章で述べることにした。

ない) ってこと。<sup>2122</sup>

[Bさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

ここから分かるのは、cukup を他人と比較せず、神と自分との一対一の関係で様々な事象を捉えることとして認識していることである。また、DさんとEさんはこのcukupの概念を用いて、お金持ちの人と自らを比べて以下のように述べる。

僕なら別に金持ちにはなりたくないけど、cukupにはなりたいと思うかな。人はcukupだと生きやすい<sup>23</sup>から。(中略)でもお金持ちはcukupを保証はしてないよ。お金持ちの人だったら、1台の車をもらっても、彼にとってはまだ足りない。でもcukupの人なら、バイクでも(神に)感謝するよ。(中略)お金持ちにはcukupがない。でもcukupな人は、幸せがあるんだ。<sup>24</sup>

[Dさん 2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて]

cukupについて言えば、(中略)金持ち…じゃあこうしよう。例えば、家が欲しいという人は他の物も欲しくなる、絶対どんな物でも埋まらないよ、満足はしない。際限がないんだ。(中略)お、これもこれもこれもって。例えば、今車欲しいってなってトヨタのAvanzaを買っても、隣人がPajeroを買ったら、僕もそれ欲しいってなる。終わりが無いよ。(中略)際限がないんだよ、お金の場合は。そうでしょ? 幸せは測る必要ないし、基準はお金じゃないでしょ? 例えば、政治家ね? 政治家は多くが汚職してる。給料は多いのに。そうでしょ? 僕と違って欲し続けてるでしょ?<sup>25</sup>

[Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

Bさんも含め、彼らはcukupの概念をイスラームと結びつけ、お金を持ちすぎたり、他人と自らを比較したりすることで、モノを際限なく欲する状態をよくない状態として認識していることが分かる。このような状態は、cukupを「充分な」と訳するよりもむしろ、「足るを知る」と訳した方が適切であるだろう。この経済的には余裕があるわけではないが、「足

---

<sup>21</sup> 原語 (インドネシア語): “(中略) Cukupnya itu adalah menkeikhlasan dari hati gitu. Gak melihat orang, beli apa terus kita mau harus beli gitu kan terus melihat orang, apa ya yang jangan melihat kanan-kiri lah gitu.”

<sup>22</sup> これ以降のインタビューデータの日本語訳は引用者による。

<sup>23</sup> ここではnyaman「快適な」という単語を使っているが、日本語のニュアンスとして「生きやすい」を採用した。

<sup>24</sup> 原語 (インドネシア語): “Kalau saya gak pengen kaya. Kalau saya pengen cukup. Kalau oranglah cukup udah nyaman. (中略) Tapi kaya gak menjamin cukup. Kalau orang kaya, dikasih mobil satu masih kurang dengan dia. Tapi kalau orang cukup, kita ada motor pun kita syukuri. Ada terus solusinya, itu aja: prinsip. (中略) Pasti kalau kaya, (中略) gak ada yang cukup. Tapi kalau cukup, itu kebahagiaan.”

<sup>25</sup> 原語 (インドネシア語): “Kalau soal cukup (中略) kaya..ini aja misalkan punya orang pengen punya rumah pasti pengen di apain di isi apaan gak ada puasny. gak ada ujungnya. (中略) oh ini ini ini. Misalkan pengen beli mobil sekarang beli Toyota Avanza, tetangga beli Pajero. Saya juga mau beli apaan lah. Gak ada ujungnya kan. Gak ada ujungnya kalau soal uang itu. Iya kan kebahagiaan itu gak harus diukur, patokannya gak uang kan? Contohnya (中略) pejabat kan? Pejabat pemerintah kebanyakan korupsi. Padahal gaji gede kan? Gak kayak ke saya pengen terus kan?”

るを知る」との状態にある自分たちについて、政治家などのお金持ちと比較して自らの<安定>を位置付け、その状態を幸せだと見ていると分析され得る。加えて、この差をレベルとして認識し、自らの立ち位置の<安定性>を見ていることが以下の C さんのデータから見出される。

人にはそれぞれ人生におけるレベルがあるんだよ。もしそのレベルがまだ物理的なものに限られているなら、それは僕からしてみればまだレベルが下ってこと。逆にレベルの最も高いのはその人がすでに、なんていうかな。物理的な問題っていうか、金銭的な問題に囚われてない時だよ。(中略) 一番高いレベルだとそんな感じ。(中略) より神に近いね。(中略) これは宗教と関連あるよ。<sup>26</sup>

[C さん 2022 年 8 月 4 日, Angkringan 屋にて]

物欲や金銭的な欲に縛られている、あるいはそれ以外の充足に目が向かない人をイスラーム的にはレベルの低い人間と見做し、そのような人々を位置付ける。そういった人々と自らを比較すると、彼らの意識の中に置いて、彼ら自身は様々に<不安定性>を有していてもなお<安定>している。このように、彼らはこの「足るを知る」cukup との考え方をイスラームと結びつけながら利用し、自らの立ち位置の<安定>さを表現する。政治家などのよりフォーマルな仕事に就き、かつ金銭的に余裕があり、一見すると安定しているように見える人々と比較してもイスラーム的には自らのレベルが上であり<安定>しているとの、<道具的イスラーム観>としての「足るを知る」cukup の様相がここから分析され得る。

### 3-2 現状の柔軟な受容：syukur/ikhlas

第二に、彼らが<不安定性>のある流動的な立場に置かれている中で、どのようにその現状を受容し認識しているのかに焦点を当てると、<道具的イスラーム観>を利用した主体性の様相が見えてきた。それは主に syukur と ikhlas との概念から見出せる。

まず、syukur は「有り難や」と訳され、派生語として bersyukur「神に感謝する」や mensyukuri「(を) 神に感謝する」といったように、ただ感謝したり有難いと思う概念ではなく、重要なのは、神に対しての感謝を示す概念である点だ。例えば、cukup の際に政治家を比較対象として出していた E さんはその後以下のように述べている。

僕みたいに、所得がどうでも結果がどうでも大切なのはどうやってそれに感謝するかだよ。<sup>27</sup>

---

<sup>26</sup> 原語 (インドネシア語): “Setiap orang punya level masing-masing dalam hidup. Kalau levelnya masih sebatas materi, bagi saya sih masih level dibawah. Justru level tingkat paling atas ketika dia itu sudah tidak memikirkan apa ya masalah materi, masalah keduitnya kan gitu kan? (中略) Kalau menurut sesi? Level paling tinggi kalau gitu. (中略) Lebih dekat dengan Tuhan. (中略) Ada berhubungan dengan agama”

<sup>27</sup> 原文 (インドネシア語): “Kayak saya disini kan penghasilan berapa hasilnya berapa kan yang penting kan kita bagaimana cara mensyukurinya.”

[Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

つまり、政治家と比較しながら、所得や結果に関係なく、それに感謝できるかどうかがキーであると認識しているとのことである。Eさんはその他に何度も「核となるのは、感謝すること<sup>28</sup>」であると述べている。また、Dさんは、一日の予定が詰まっていることに対して、筆者が疲れないのかと尋ねた際に、以下のように述べている。

全て（神に）感謝し続ければ、疲れることなんてないよ。だってなんていうのかな、義務だからさ。だってこの世は（当たり前）疲れる場所だから。（中略）試練の場所。<sup>29</sup>

[Dさん 2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて]

彼らにしてみれば、この世つまり現世で試練が訪れたり、上手くいかないことがあることは、自明の理であることから、ここで起こる事象に対しては何か欠けている、あるいは否定的な側面よりも、何かがあることや肯定的な側面にフォーカスを当て、それに対する感謝を重要視することで、あるがままを受容するとの姿勢を見せていると考えられる。

次に、ikhasは「誠心誠意を尽くす」や「覚悟が出来ている」との意味で、派生語には mengikhlasikan「潔く捧げる、ゆだねる、あきらめる」などがある。これも神に繋がる概念である。神から受けるどのような事象も受け入れることということである。それはつまり、神に判断を「ゆだねる」ことであり、受け入れ難い事象に直面しても神の判断であるからの理由で抵抗することをやめて現状を受け入れ、「あきらめる」との意味が展開される。これは先の「足るを知る」cukupとも関連する考え方で、Bさんはikhlasの派生語を用いて「それはゆだねること(keikhlasan)によるよ。心の誠意(keikhlasan)。それがcukup。[Bさん 2022年8月4日, Angkringan屋にて]<sup>30</sup>」とその関連性を直接的に述べている。Dさんは、筆者が辛いことや困難なことがあるかと尋ねた際に、ikhlasとの概念を用いて以下のように述べる。

ないね。全てが快適だよ。私が行ってることは神が定めたもの(ikhlas)だから。快適だよ。負担はないね。<sup>31</sup>

[Dさん 2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて]

このikhlasは大変に訳しにくいだが、意識的に「神が定めたもの」とした。彼らが<不安定性>の中に生きるとき、一般的にはその生きにくさが注目されたり、否定的な事象が観測さ

<sup>28</sup> 原文（インドネシア語）：“Intinya bersyukur, intinya itu bersyukur.”

<sup>29</sup> 原文（インドネシア語）：“Semuanya kalau kita syukur gak ada yang cape. Karena itu udah apa...kewajiban ya. Karena dunia itu tempatnya cape. (中略) Tempatnya ujian.”

<sup>30</sup> 原語（インドネシア語）：“Iya tergantung keikhlasan sih. Keikhlasan hati ya. Cukup itu.”

<sup>31</sup> 原語（インドネシア語）：“Tidak ada. Semuanya nyaman. Yang saya jalani karena ikhlas jadi nyaman. Tidak ada beban.”

れたりする傾向にあるだろう。しかし、彼らが ikhlas との概念を用い、言語化するとの形で意識下に置いているものはまさに、現状のどのような事象も神の定めであるからとの理由から受け止め、正当化している主体性のあり方であると言えるのではないだろうか。

このように、syukur と ikhlas との概念を利用して、彼らは<不安定性>の中でも主体的に<安定性>の中にいる自分を意識する。それは、現状を神の判断が反映された事象と見做し、つまり現状が定められた不変のものであるが故に、不足点にフォーカスせず、あることそのものに目を移した上で、神に感謝することを善とする考え方を戦略的あるいは<道具的>に利用した結果であると分析され得る。

### 3-3 神の恵みが訪れるとき：untung/berkat/rezeki

第三に、以上のような<不安定性>の中にある自らの戦略的位置付けとは反対に、明らかに肯定的な事象が起こる状況に関して、彼らはどのように解釈するのかといったことにもまた、主体的な<道具的イスラーム観>が見出される。ここでは、3つのほぼ同じ概念が抽出される。それは、untung と berkat、そして rezeki である。untung は「運、幸運」「幸い、運がいい」「儲け、利益」との意味で、berkat は「祝福、福、天の恵み」「～のお陰で」と訳され、rezeki は「福、金運、儲け話」などの日本語訳が当てられている。これらもまた、イスラームに関係のある概念である。肯定的な事象そのものは、先の否定的な事象と同じく、神が与えるということである。それはどのように存在するのかを、rezeki との文言を用いて以下のように C さんは意識下に置く。

理論的に考えればね、(中略) 僕たちは仕事をしなきゃ食べていけないよ？でも僕たち人間が福だと考えるものは実はそこに全部ある(転がってる)んだ。(中略) 福はここにあるんだよつまりは。<sup>32</sup>

[C さん 2022 年 8 月 4 日, Angkringan 屋にて]

このように、C さんは理論的に考えることとイスラーム的に考えることを対比させ、理論的に考えれば仕事をしなければお金は得ることが出来ないために、食べていけないと考えられるが、イスラーム的に考えれば、神からの恵みや福はどこにでも転がっていることが自明であるから、仕事とお金を全面的に結びつけ、それがなくては食べていけないとの考え方はしたいとの認識をする。以下のような E さんの発言は、別の方向から同じ事象を表現していると言える。

もし賑わなかったらって、明日盛況かなんて(誰が)分かる？(中略) 分かんないでしょ？重要なのは、努力するのが先ってこと。その結果として後でどうなるか。大切なのは、

---

<sup>32</sup> 原語(インドネシア語): “Kalau berpikir logika ya (中略) kita nggak kerja pasti kan nggak makan kan? tapi kan kalau orang-orang kita mah, pikirnya rezeki mah sebenarnya kan ada disini semua. (中略) Rezeki itu ada disini ibaratnya.”

努力してるかだよ。その人の福はそれぞれの敬虔さにあるから。大切なのは努力しているかだよ。<sup>33</sup>

[Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

Cさんが明確に述べたような、時間的空間的な制限を超えて、神からの恵みや福は存在するとの認識は、逆説的に、Eさんが言及した敬虔に生きることや現状を受け入れつつ努力をひたむきに続けることの意味を示しているように思える。何か目的があり、つまりここでは福や幸運を得るために、それを目指して行うのであれば、それは一時的なものであるだろう。しかし、永遠とそれがどこにでも存在するのであれば、時間や空間に囚われず目的にしたがって行為することのない様相があることも理解され得る。また、それに照らし合わせれば、安すぎる値段でサービスを提供するDさんに対し、筆者が値段を上げないのかと問うた際の彼の答えにも説明が付きそうである。彼は *untung* と *berkat* との文言を用いて以下のよう

に答えた。

値段が高いが、お客さんがいない。値段が安くて、でもお客さんがたくさん。これが神からの恵み (*berkat*) だよ。(中略) 多く求めちゃいけない、(多く求めたら) 幸運は来ない。少しだけど沢山。これが幸運。<sup>34</sup>

[Dさん 2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて]

これらの共通点は要するに、時間的あるいは空間的に制限された形で努力したり、目先の特定の目的に向かって行為をするのではなく、際限なく存在する福は副次的に神によって訪れるものであるからして、全体として善たる事象の実行を目指すその過程にフォーカスすることが出来るということである。つまり、結果に囚われないとの思考を<道具的>に利用することで、結果としての<不安定性>を有する自らの状況を<安定>へと導くことが出来ていると考察され得るのである。

### 3-4 イスラーム以外の知見

最後に、これまで<道具的イスラーム観>としてイスラームに直接的に関連する価値観を扱ってきたが、意外にも彼らはイスラーム以外の文脈で言われている知見を<道具的>に用いたり、参考にしていることがあった。これは、本稿で<道具的イスラーム>としないことにも大きく関わる。彼らがイスラームの教えを彼らなりに解釈し、それを反映させて<不安定性>の中で生きる際に、その教えとたがわないあり方を示すと彼らが理解する他の

---

<sup>33</sup> 原語 (インドネシア語): “Kalau gak rame, emang tahu besok gak bakal rame? (中略) ya gak tahu kan? Yang penting kan kita udah usaha dulu kan. Hasilnya kan ya gimana nanti, yang pentingnya udah usaha. Karena rezeki orang itu udah ada takwanya masing-masing. Yang penting kita udah berusaha.”

<sup>34</sup> 原語 (インドネシア語): “Kita punya harga mahal, tapi pelanggan gak ada. Kita harga murah, tapi pelanggan banyak, Itu berkat. (中略) Kita jangan mencari banyak, tapi gak dapet untung. Kita sedikit tapi banyak, itu untung.”

文脈での知見は受け入れ可能なものとして、つまりイスラームの教えと合わせて〈道具的〉に利用することがあり得るものとして考えられているとのことである。例えば、Cさんは、彼の記憶によれば昔の日本人の知見である事象を口にしている。

実際、日本にいるでしょ、えっと誰だっけ名前。彼は100歳くらいまで生きたんだよ。(中略) IKIGAIだよ、違うっけ(中略) IKIGAIじゃないか？(中略) 彼らは長生き出来たんだよ、その理由が精神が落ち着いていたからなんだ。(中略) そこから僕はその知見を得たんだよ。<sup>35</sup>

[Cさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

その他にも、Dさんは先の *berkat* や *untung* を用いた際に、その考え方が中国の知見であることに言及<sup>36</sup>している。加えて、Eさんは先の *syukur* の議論に続いてそれがソーシャルメディアでも書かれていることに言及<sup>37</sup>し、それをよく読むと言う。

このように、直接的にイスラームに関連しない知見であっても、彼らは言及し、それを利用することで〈不安定性〉の中で見出される自らの〈安定性〉がイスラームに限らず他の文脈でも当てはまることを示す役割を果たしていると考えられる。

### 3-5 小括

以上のように本章では、〈不安定性〉の中にある彼らの〈道徳的イスラーム観〉とここでは名付けられた戦略的な〈道具〉としての価値観や考え方を明らかにした。それには大きく4つあった。現状が〈不安定性〉の中にあると、「足るを知る」との *cukup* の考え方をすることで、自らを高いレベルに存在すると認識し、求めすぎない自分に善を反映させた。また、その状況を受け入れることは神に感謝したり、神の判断を無条件に受け入れるとの考え方を体現することにより達成されていた。関連して、神からの恵みや幸運があらゆる時間と場所にあり、限られた時間や空間に囚われた目的のために行うよりもむしろ、日常的に努力することの必要性と副次的に訪れる福の存在の地位を高め、自分たちの〈不安定〉な生活を〈安定〉であると認識する材料とした。加えて、このようにイスラームに関連させた価値観や思考を〈道具的〉に用いるだけではなく、中国や日本、あるいはSNSといったイスラームと直接的に関連しない知見であっても、自らの〈安定性〉を説明するための〈道具〉としては用いられ得る可能性を提供したと言える。

---

<sup>35</sup> 原語 (インドネシア語): “Sebenarnya kan ada di Jepang orang-orang yang aduh namanya apa ya dia tuh hidupnya sampai ratusan tahun (中略) .IKIGAI ya bukan (中略) Mereka pun umurnya bisa lebih panjang karena hati tuh tenang. (中略) Saya tahu ilmu itu dari sana.”

<sup>36</sup> 原語 (インドネシア語): “Kalau ilmu cina, sedikit itu banyak, tapi banyak sedikit.” (邦訳: 「これは中国の知見であるんだよ、少しだけたくさんっていうのが。でもたくさんは少ないんだ。」) [Dさん 2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて]

<sup>37</sup> 原語 (インドネシア語): “Termotivasi, ya kan? Sering-sering baca motivasi di medsos, ya jadi semangat lah. jiwa semangat lah.” (邦訳: 「モチベーションを保つんだよ、そうでしょ？すごくよくソーシャルメディアでもモチベーションを保つっていうの読むよ。だから頑張るんだよ。頑張る心だよ。」) [Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

## 第4章 <道具的労働観>

本章では、<道具的労働観>について論じる。これは、<不安定性>の中に生きると位置付けられる彼らが自らを<安定性>の中に導くために労働に対する考え方や労働そのものの捉え方を<道具>として用いていると分析されることを示している。ここでは大きく2つに分類する。第一に、彼らが労働地位的に流動した理由を語る際に、何を重視してその選択に至ったと言語化するかに焦点を当てて論じる。これは、その重要視するポイントがあるからこそ、自らの立場や選択を正当化していると分析され、その<道具>性を見る。第二に、<非特殊的労働>とここでは名付ける<道具的労働観>に関して論じる。資本主義社会に以降するにつれて、資本に価値が見出され、金は大きな権力を有するようになった。それと同時に、金を生み出し得る労働は特別な地位に立ったと言える。労働に大きな価値が付与され、それはその他の行為とは区別化されていると考えられる。一方で、インタビューから見出された彼らの労働そのものへの捉え方は、そういった特殊なあり方を有する労働ではなく、むしろ<非特殊的>な労働であった。このことから、ここではそれを<非特殊的労働>と名付け、その中に含まれる労働観には具体的に何があるのかを4つに分けて具体的に論じていきたい。

### 4-1 新たな選択肢：自由さ

先行研究においては、地位的に流動したり仕事を変えたりすることは主に経済要因に起因すると指摘されてきた。例えば、先にも言及した間瀬（2010）は、出稼ぎ者の職の移動に関し、地縁・血縁を最大限に利用しつつ、それが唯一無二の手段というよりかは、より良い経済的利益を得ることを目的とした合理的戦略であるからして、もし他により金銭を得られる手段があれば移動するとの指摘を行なった。このように金銭を求めることを理由として仕事を頻繁に変更する彼らの様相に対して、本研究では、それとは異なるまた別の理由になり得る選択肢の存在を示唆したい。以下のAさんの文言は明確に金銭が理由にならないことを示している。

つまり...たとえ給料が高くても心地良くない仕事は俺はやりたくないし。(中略)俺らはどれだけ長く働いてもゆっくり出来るし、他人に仕切られ続けることもないし。(中略)俺が一番嫌いなのは決めつけられること。<sup>38</sup>

[Aさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

給料が高くても心地良さや快適さ (nyaman) を得られない仕事はやりたくないと考えており、彼は前職のことを思い返し、以下のように語る。

---

<sup>38</sup> 原語 (インドネシア語): "Intinya..mau kerja gajinya berapapun kalau gak nyaman saya gak juga. (中略) Kita kan kerja meskipun jamnya panjang tapi kan bisa santai gak terus gak diatur-atu orang. (中略) Saya paling gak suka diatur orang."

ジャカルタでは、その当時ね、その当時は好きじゃなかったよ。プレッシャーも大きかったし、仕事で上司とか監督官からこうしろああしろって...<sup>39</sup>

[Aさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

Aさんは他人に指図されることを嫌い、そのプレッシャーや生きづらさを表現している。これと同じようなことが以下のBさんの答えからも見出せる。

どこにも縛られてないっていうのは例えば、なんか会社とか誰かとかなんでも。僕たちは自分たちだけでやってる。だから自由だよ。(中略) うん、自由は大切だね。だって、自由って物・事なんでもから自由って意味じゃないよ。ポジティブな意味で自由。例えば、こんな感じ、タバコ吸いたければ吸っていいし、何かしたいならしていいとか。<sup>40</sup>

[Bさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

これは、筆者が彼に仕事に関してつらくはないかと尋ねたところ、つらくないと回答し、その理由として挙げられた一つである。先のAさんと同様、他人から縛られるのではなく、自由であり、何をしても良いとのが彼らを地位的に移動させ、そしてこの地位に留まることを選択させていると言える。さらに、Eさんはもはや自分の「仕事」との概念そのものが、自分が行なっているような仕事とは異なるものとして捉えている。それが分析され得るデータとして、筆者が彼に、仕事をしている時に“仕事している”という感覚があるかどうかと尋ねた際の回答を以下に提示する。

いいや。全く。だって、仕事って上司からのプレッシャーとかあるやつでしょ。そうでしょ、仕事って絶対要求がある。何時くらいに出勤して、仕事はこうじゃないとだめとか、とにかく指示がある。自分の店だとそれがない。自由。何やりたいかってだけ。(中略) 携帯触ってもいいし、整理整頓してなくてもいいし。でも、もし汚くしてたら、仕事だと、買う人も気づいて多分怒られるよ。あれしろこれしろって。例えば、まだ仕事が終わってないとか。そうでしょ？プレッシャーがあるじゃん？<sup>41</sup>

[Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

---

<sup>39</sup> 原語 (インドネシア語) : “Kalau di Jakarta emang dulu ya gak suka aja. banyak tekanan juga kan dari atasan, dari supervisor..harus gimana-gimana..”

<sup>40</sup> 原語 (インドネシア語) : “Contohnya gak terikat kemanapun ya kayak ke perusahaan ataupun ke orang ke siapapun lah. Iya kita sendiri aja. jadi kebebasan. (中略) Iya kebebasan itu penting sih. Soalnya kan memang kebebasan itu bukan berarti bebas dalam hal apapun, ya, gitu. Dalam arti kebebasan itu yang positif. Contoh, ya kayak gini kita bebas mau ngrok mau apa gitu.”

<sup>41</sup> 原語 (インドネシア語) : “Gak. Gak. Soalnya kenapa kalau kerja itu ada tekanan dari atasan. Iya kan kalo kerja pasti ada tuntutan. Harus masuk jam sekian terus kerjanya harus ini itu pokoknya ada arahan lah. Gak kayak di toko sendiri. Bebas. Mau apain aja. (中略) Main hp gapapa, mau berantakan juga gapapa tapi kan kalo berantakan. Kalo kerja kan kita juga sadar sama pembeli gitu kan mungkin dimarahin lah suruh apa lah apa lah. Miasalnya kerjanya belum selesai iya kan? ada tekanan kan?”

彼が表現することには、「仕事」はプレッシャーや指図、上からの縛り付けがあることを前提とした概念であり、自由である自分はもはやそれには属さないとのことである。

要するに、これらのことから示唆されたことは、彼らの地位的移動の選択の根拠に「自由さ」を求めるとの新たな選択肢の可能性が加わったことである。彼らは、他者から指図されたり制約されたりすることを逃れるために地位的移動を行っている可能性がある。重要なのは、その地位的移動の本当の理由が何であろうと、彼らがそのように表現したとの事実はつまり、自分たちの選択として主体性を持って行なった行為の結果としての地位的移動であるとの、事象の発生理由への主体的な意味づけを行なっていたと分析され得るのであり、それは<道具的労働観>の一つとして昇華される。<不安定性>の中にいることはむしろ、彼らが主体的に行なった選択の結果であり、それは労働に対する考え方として「自由さ」を優先させるとの選択の自由の行使の結果であるということだ。それは<不安定性>であると思われていた状況がむしろ、<道具的労働観>としての「自由」な労働を用いることで、彼らの中では<安定>として理解されていると考えられるのだ。

#### 4-2 <非特殊の労働>

第二に、彼らが労働を<非特殊の労働>として捉えていることが示唆される事象を4つに分類して提示する。その4つとは、①労働の流動性、②労働の軽率性、③ワーク（労働）とライフの非区別化、④労働は「役に立つ」ものではないこと、である。これらは全て労働自体を人生における他とは異なる特殊な行為であるとは位置付けていないことが分かる内容であり、それらの労働観を用いて<不安定性>の中にいる<安定>的な自分を表現していることから、<道具的労働観>の一部としての<非特殊の労働>の構成要素として示すこととする。

##### 4-2-1 流動性

第一に、労働を流動的なものとして見ている労働の「流動性」に関して論じる。これが<非特殊の労働>の一つの要素として分析され得る理由は、この労働観に依ることはつまり、趣味嗜好などと同じく、労働や仕事は変化することが自明な事象として捉えられていると考えられるからであり、それは労働それ自体が特殊ではない様相を示していると言えるからである。

この労働の流動性を論じるにあたり重要なことは、対象者らは<地位的流動性>を有していること、つまり前職と現職が異なることである。この前職から現職への移動に関し、例えばBさんは以下のように表現する。

その期間中に（コーヒーショップの）知識を得ただけ、だからコーヒーの作り方を知って、コーヒーマシンの値段がどんなかとか、あとなんでも。それが企業にいた時に得られたこと。将来お金があったら、機会があれば、そのコーヒーショップの知識を活かせる

かなって感じ。<sup>42</sup>

[Bさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

これは、前職にいたとき既にその職に留まるとは考えていないことに加え、その職を将来のための手段や踏み台として考えていたと言える。また、Eさんは前職である病院の料理人をやめた理由の一つに「もう知識は得た<sup>43</sup>」との理由を挙げている。加えて、Dさんは実際に、靴の磨き方として、汚れた時にタワシなどで擦るのではなく、コットンを水に浸しそれを使ってワックスを塗ると、油と水が弾き合って最終的にワックスのみが靴に貼りついて綺麗になるとのチップスを前職であるボディガードをしていた際に得た知識として教えてくれた<sup>44</sup>。

これらの事象から、労働を流動性のあるものとして自明視しているとの彼らの労働観が見出され得る。何かの仕事についたとしても、そしてそれが一般的にフォーマルセクターに分類される仕事であっても、労働の流動性によって、その仕事が永遠に続くものではないことを意識下に置くことで、それを手段として使い、将来に役立てるとの合理的な判断として還元していく様相が見出される。彼らが<不安定性>の中の<地位的流動性>を有することは、この労働観に照らし合わせればもはや当たり前のことであり、この考え方をすることが彼ら自身を<安定>に位置付ける材料になっていると言えることから、<道具的労働観>の一つとして機能していると言えるだろう。

#### 4-2-2 軽率性

第二に、労働の軽率性に関して述べる。「軽率」との単語を用いていることから、誤解を招きかねないため注釈を加えると、労働を甘く見ていたり責任ないものとして考えていたりするとの意味ではない。実際インタビューの中で、労働やビジネスにリスクが伴うこと<sup>45</sup>や責任が伴うこと<sup>46</sup>に明確に言及している対象者もいた。そうではなく、これは、彼らが考える労働が、深い知識や長年の経験、専門的な方法と紐づくよりかは、より簡単で身近な事象でさえもそれに变化を加えられるような柔軟性のあるものとして捉えられていることを意味する。例えば、Cさんは現職が床屋であるが、それを始めるための手法や技術の仕入れ先について以下のように述べている。

(当たり前かのような仕草で) YouTube だよ。(中略) 独学だよ。(中略) コース<sup>47</sup>は行

---

<sup>42</sup> 原語 (インドネシア語): “Selama itu cuman diambil ilmunya aja gitu kan jadi tahu cara bikin kopi, cara apa apa harga mesin kopi, atau apapun lah. Itu yang ada di perusahaan bisa diambil gitu. Kelak nanti ada uang atau ada ya nemu apa gitu bisa jadi peluang gitu dari ilmu kopi shop itu.”

<sup>43</sup> 原語 (インドネシア語): “(中略) udah dapat ilmu, (中略)”

<sup>44</sup> これはフィールドワーク中のメモからの引用。付録「その他のフィールドワークに関する聞き取りメモ」を参照のこと。

<sup>45</sup> Dさんのインタビューより。

<sup>46</sup> Bさんのインタビューより。

<sup>47</sup> kursus 「講座、講習会」。ここでは塾や専門学校のようなイメージの場所のこと。

っていないな。<sup>48</sup>

[Cさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

床屋を始めるにあたっての技術は、全て YouTube との誰でもいつでもどこからでも見ることのできるオープンなプラットフォームから習得しており、その知識の善し悪しの信憑性をはっきりとしないサービスを使って 1 年程度かけて習得した。彼はまた、労働をお金を得るための手段として考えたとき、「どんな方法だってお金を得られる」からこそ、より重要なのはそれまでに得た知識や技術を使って何ができるか、何をすべきかということだと語る<sup>49</sup>。こうようにどのような方法でも金を得られるとの考えは、つまり金を得るためのただの手段である労働のあり方を示していると分析できるのであり、どんなに小さな知識であっても金を得るためになら用いることができ、自らのキャリアを変更する材料になり得るとの労働の軽率さを表現していると言える。さらに、Eさんは地位的に移動した理由に関して以下のように述べている。

友達がもうすでにビジネスやってたからさ。(中略) そう、友達に影響された(中略) うん、友達には感謝してるよ。友達だっただけ出来たんだ、僕にもできるだろうって思った。<sup>50</sup>

[Eさん 2022年8月22日, 彼の屋台にて]

身近な友達が既にビジネスを始めており、友達が出来たのだから自分に出来ないわけはないだろうからやってみようとの気になったと彼は話す。

SNS などのネットワークサービスや友達といった身近なところにある様々な小さなファクターが労働や仕事を変化させる材料足り得るとのことは、要するに、彼らが考える労働が容易く柔軟に変化され得ることを意味し、金を得るための手段としてある労働だからこそ、条件が揃いさえすれば身近で小さな事象を用いても労働は行うことが出来るとの、労働の軽率性を示していると言える。加えて、これは労働に対して他の事象よりもシリアスに捉え、不可変であると考えることとは相反するからして、<非特殊的労働>のあり方として位置付けられ、またそれによって地位的に移動したり金銭的には少ない労働を行うことにも合理的な意味を付与するとの<道具的労働観>の様相が浮かび上がってくるのである。

---

<sup>48</sup> 原語 (インドネシア語): “YouTube. (中略) Otodidak. (中略) Saya gak pake kursus.”

<sup>49</sup> 原語 (インドネシア語): “terus ketika udah gak ada yang perkerjaan ya cari solusi! biar gimana caranya dapat duit. beda sih mindsetnya. Lebih..lebih ke yang penting kita ngelakuin apa dulu. toh pasti juga duit nyamperin ke kita.”

邦訳: 「以前仕事してた時は絶対知識(術)を得たでしょ。その知識を得る。それで仕事がなくなったってなったとき、解決策を探すでしょう! どうやったらお金が貰えるかって。マインドセット(価値観)が違うんだよ。もっとなんていうか、もっと重要なのは僕たちが何をすべきかでしょ? 絶対どんな方法だっってお金得られるんだからさ。」

<sup>50</sup> 原語 (インドネシア語): “Teman udah buka usaha. (中略) oh pengaruhi teman iya (中略) berterimakasih teman aja bisakah masa kita gabisa jalanin itu aja gitu ya udah lah.”

### 4-2-3 ワーク≡ライフ

第三に、昨今よく話題になるワーク・ライフ・バランス（WLB）に引き付けて、3つ目の要素に言及する。佐藤ほか（2011）によれば、WLB が実現できる職場とは「働く人々が、会社や上司から期待されている仕事上の責任を果たすと同時に、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなくてはならないことに取り組める状態」としており、こうした「メリハリのある働き方」への転換が WLB 支援として示されている。また、佐藤（2020）は「WLB が実現できている社員は、仕事で期待されている役割と仕事以外の場で求められている役割の両立ができている状態にある」一方で、「仕事上の役割と仕事以外の役割の遂行の両立が困難な場合、社員は WLC」、つまりワーク・ライフ・コンフリクトの状態に陥ると述べている。これらの指摘の前提には、ワークとライフはバランスが取れるものとの認識があり、換言すれば、ワークとライフは異なるものであり、区別され得るとの前提が存在する。しかし、本項で見る要素としての「ワーク≡ライフ」はその名の通り、ワークがライフと区別されず、ライフの中にワークも含まれ得る上、それが等しい場合もあり得るとの労働観を示している。例えば、A さんや E さんは仕事について、「遊んでいるようなもの<sup>51</sup>」だと答えている。遊びと仕事が分化されていない様相を表現する。また、人生における仕事が占める割合が大変に多い<sup>52</sup>と考えており、それは仕事が遊びやその他を内包するからだとして答えている。加えて、D さんは以下で言及している通り、仕事に趣味を内包している。

僕の趣味は綺麗にすることだよ、家で、とか。それが趣味。(中略) だからこの仕事やって楽しいんだ。だって人を手伝ってるのにそれが趣味なんだから。<sup>53</sup>

[D さん 2022 年 8 月 8 日昼頃, 靴磨き屋にて]

このように、彼らは労働が遊びや趣味といったライフに関連するものと一体化した形で思考しているように分析でき、ワークがライフに内包されている或いはイコール関係にあるとの特殊領域にない労働を見出していると言える。このことは、彼らが労働しながら遊びを行なうことも正当化され得る上、それが<安定>として表現されるに至る<道徳的労働観>の一端を担っていると考えられる。

<sup>51</sup> 原語（インドネシア語）：筆者“Apakah Anda merasa seperti bekerja saat Anda bekerja?”

Mas A“Gak. Saya rasa sedang main-main dengan teman saya. (中略) kalau disini jujur aja seperti main.”

邦訳：筆者「仕事している時、仕事してるって感じる？」A さん「いや。友達と遊んでるって感じかな。ここなら正直遊んでるみたいだよ。」[A さん 2022 年 8 月 4 日, Angkringan 屋にて]

原語（インドネシア語）：Mas E “Kalau misalkan sepi kan main nongkrong sama yang lain, main HP, duduk-duduk kan ngobrol-ngobrol ama yang lain lah. (中略)Ibaratnya sambil main juga sih.”

邦訳：E さん「例えばお客さんが少なかったら、他の人とゆったりおしゃべりしたり、携帯触ったり、他の人と座っておしゃべりしたりするじゃん。(中略)つまりは遊んでるようなものだよ。」[E さん 2022 年 8 月 22 日, 彼の屋台にて]

<sup>52</sup> 例えば、B さんは 70%、E さんは 90%、D さんは約 100%で、彼らは皆、全てを内包する仕事を説く。

<sup>53</sup> 原語（インドネシア語）：“Hobi saya tuh bersih-bersih seperti di rumah. Itu hobi.(中略) Makanya ini pekerjaan ini saya senang iya kan karena bisa untuk bantu orang iya kan tapi ini hobi.”

#### 4-2-4 「役に立つ」場所と方向性

第四に、労働の中に社会の役に立ったり貢献したりするような役割を見出さないとの労働観がある。職業意識を取り上げる研究において、頻繁に取り上げられる意識が「働く個人の意識を問いながらも、職場や企業という組織体、あるいは労働市場というマクロな社会との関係に着目する（西野 2005）」ように、職業意識の中のやりがい意識が社会との関連で成り立つことは容易に想像できる。しかし、ここではそういったマクロな社会への貢献を労働に見出さないあり方が分析される。例えば、Aさんは「役に立つ」ことを社会ではなく身近な人へのそれとして表現する。

うん、ここでも役立ってるよ、もし友達が今困ってるとか、今忙しいとかだったら手伝うよ。それって役に立ってるってことじゃない？（中略）僕たちはただお互いに助け合っただけ。<sup>54</sup>

[Aさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

同じく Bさんはより具体的かつ明確に社会との繋がりを否定し、その上で自らの身近な人々との繋がりの中に自分が役に立っているとの認識を提示する。

役に立ってるねえ、家族かな。（中略）家族にだね、だって僕全然社交的じゃないからさ、だから（中略）近しい人にだけ。手が届めるくらい近い人、足が届くくらい近い、一番近い人。だから社会にはあんまりかな。<sup>55</sup>

[Bさん 2022年8月4日, Angkringan 屋にて]

要するに、「役に立つ」といった意識は、家族や友達、日常的に出会う手が届く範囲の人に向かったものであり、労働の中に必ずしも存在するとの意識を持たないあり方が分析される。インタビューの中で、役に立っているとの概念や文言は、彼ら自身が行っている仕事と結び付けられて回答されることはほとんどなく、仕事と関連づけられても身近な人々に対してであり、やりがい意識に結びつけられるほどの社会との関連性を仕事から見出さない労働観があり得た。このことは、＜安定＞的な彼らの存在を体現するために＜道具的＞にこの労働観を用い、自分の仕事がマクロな社会の役に立っていようと立ってまいと、それはそもそも労働に見出すものではないからして、身近な人間に対する「役に立つ」感覚で自分を満足させるとの分析を可能にさせると言える。

---

<sup>54</sup> 原語（インドネシア語）：“Iya kalau disini juga ya berguna sih kalau teman lagi kesusahan lagi sibuk kita bantuannya kita berguna berarti kan?（中略）kita saling bantu aja.”

<sup>55</sup> 原語（インドネシア語）：“Berguna ya untuk keluarga（中略）Untuk keluarga soalnya saya jarang bersosialisasi jadinya（中略）ke orang yang terdekat aja. Yang digapai oleh tangan, yang bisa dicapai oleh kaki yang terdekat. Jadi ke masyarakat kurang sih.”

### 4-3 小括

本章で彼らの<不安定性>を<安定>へと導く<道具的労働観>として具体的に分析されたのは主に2つの観点からであった。第一に、先行研究で地位的移動が経済的利益を得ることを目的としていると指摘されてきたが、本研究ではここに新たな選択肢として「自由さ」の存在を示唆した。経済的利益を求めて地位的に移動するだけでなく、他者に縛られず自由にやりたいことをやることの出来る環境を求めるとの可能性が見出された。第二に、労働を特殊な行為や事象であると認識しないとの<非特殊的労働>のあり方が見出された。労働それ自体が、他の行為と同じように容易く変わり得るものであり、小さく身近にある力で変化し得るような柔軟性を持った軽率な存在であり、WLBとの考えの根底にあるようなワークとライフの二項対立的な存在を否定し、マクロな社会に役立つことをその中に必ずしも見出す必要のない事象であるとの労働観が指摘された。以上のような<道具的労働観>は、彼らが<不安定性>の中に存在しつつも自らを<安定性>の中に位置付けるために用いられている価値観や考え方であると考察され得る。

## 第5章 結論と限界

本研究は、インドネシア共和国のジャカルタ郊外の工業団地周辺に流入してきた労働者を対象とし、彼らを<外的不安定性>と<内的不安定性>を有した<不安定性>の中に生きる労働者であると位置付けた上で、彼らがその中でどのように主体性を持って生きているのかとの、主体性のあり方を見た。彼らは、自らの仕事や人生を肯定的な言葉で表現しており、<不安定性>の中にありながらも<安定性>を意識下に置く様相が見出された。そのことは、Giddensに則して論じれば、不安が現実のものとなった場合にそれを遮断する「信頼」を存在させ、それとの再帰性によってその<安定>を言語化していると理解される。その「信頼」として戦略的あるいは<道具的>に置かれたのは、様々な価値観であった。本研究ではそれを2つに分類し、<道具的イスラーム観>と<道具的労働観>と名付けた。前者では、過去の自分や金持ち、政治家などと比較し、自らが<不安定>な位置ではなくレベルの高い<安定>した位置にいることを「足るを知る」との概念を用いることで意識下に置き、努力したり現状を受容することが最終的に副次的な神からの恵みを得ることに繋がるとの、一見否定的に見える現状の肯定化を<イスラーム観>を<道具的>に用いることで体現していた。また、イスラームに関連しない中国や日本、SNSからの知見であっても、彼らの<安定>への導きの手段としては使い得ることも示唆された。後者では、地位的な移動の理由として「自由さ」を求める様相が見出されたことに加え、ここでは<非特殊的労働>と名付けられた捉え方を抽出し、労働を流動性や軽率性あるものとして認識し、人生の中で他の行為と連続性のあるものとして、或いは共存し得る存在として見ることや「役に立つ」感覚をその中に見出さないとの意識を持つことで、<不安定>な中でも<安定>的に生きる自分たちを彼らは体現していたと言える。

また、これらの分析・考察と照らし合わせ、先述の先行研究の検討に対する学術的貢献を

述べたい。

第一に、インドネシア共和国の郊外ニュータウンの先行研究との差異として、工業団地に直接関わりがなくかつ在地社会とも関わりを持たない周辺労働者に焦点を当てた研究であることはこの分野において重要な役割を果たすと言える。また、工業団地周辺のみならず、今後も資本主義化やグローバル化の流れを受け、様々な地域において、前近代的社会と近代的な社会の中で揺れ動く労働者が増える可能性がある。途上国の郊外ニュータウン研究としてだけでなく、変容社会における揺らぎに対してミクロに調査した一事例研究としても意義があると言える。加えて、＜地位的流動性＞に関する先行研究では、マクロな視点での研究を行なっているが、それと比較して本研究は、個人の選択やそれに関わる価値観や労働観に焦点を当てたミクロな研究となっている。

これにより、第二に、インフォーマルセクター研究の中で現在まで言われてきたような、インフォーマルセクターの仕事内容や業種の変化、地動的な移動の理由の根本には経済的利益の追求が存在するとの言説に加え、他者から縛られない「自由さ」を求めるとの、新たな理由の存在を示唆したことは、インフォーマルセクター研究の分野においても重要な意義が見出される。

第三に、＜不安定＞な自己の議論に引きつけられれば、本研究の対象者たちは、貨幣やそれを生み出す労働を大きな「信頼」を伴うものとしては認識していない上、《地域共同体》へのコミットは薄く、妻と子のみといった想定されるよりも限られた《親族関係》にしか焦点を当てず、かつ過去志向や未来志向よりも現在に向いた価値観で生きていると分析される。このことはつまり、彼らは前近代的にも近代的にも「信頼」を伴う環境には明確には属していないと考えられる。しかし、そのような中でも＜安定性＞を意識下に置くことが出来るのは、＜道具的イスラーム観＞や＜道具的労働観＞を用いた主体性がそこにあるからだ結論づけられる。換言すれば、Giddens のカテゴリーに収まらない人々がどのような事象を「信頼」に位置付けているのかの新たな事例を本研究が提示したと言える。

第四に、労働と宗教の関連性に関しては、イスラームの文脈で労働を語る時、彼らが示したことには、Weber が論じたような神の使命たる労働ではなく、ただ現世で生きるための手段としての労働であり、金や資本への執着や崇拜はむしろレベルが低いものとして見なされるとの差異を提供した。しかし、これがイスラームの教えとどの程度繋がりを持っているのかは本研究では明らかにはなっていない。というのも、本研究で重視したのは、言語化との形で現れた彼らの意識であり、それがイスラームの教えに適しているか否かには焦点を当てず、クルアーンと比較するなどの工程は踏んでいないからである。その点は限界と今後の発展として示しておきたい。加えて、今回は特にインタビュー対象者が限られていたことにより、本研究で明らかになったことが一般化できず、個人の範囲に留まってしまうことや、工業団地の特性が後景化しすぎたこと、インタビューに使用した言語のニュアンスを非母語話者の筆者が正確に理解出来ているかなど、議論の余地は多くあるため、それらを今後の研究の課題としたい。

## 謝辞

本研究の遂行にあたり、多くの方々のご指導ご鞭撻を賜りました。小熊英二教授（慶應義塾大学総合政策学部）には、広範囲かつ深奥な知識と的確なご助言を賜り、何より社会学を代表とする学問の面白さをご教授頂きましたこと、ここに深謝の意を表します。また、野中葉准教授（慶應義塾大学総合政策学部）には、大学1年次からインドネシア語に加えインドネシア文化を中心に幅広くご教授頂きました。深く御礼申し上げます。加えて、小熊英二研究会と野中葉研究会において共に切磋琢磨し、多くの有用なアドバイスを下さった研究会の皆様、インタビューデータの文字起こしの確認に快く協力してくれた友人 Rania Manayra にも感謝を申し上げたいと思います。

最後に、幼い頃から私の学問的能力を信じ、学問の道のモデルとなってくれ、論文の完成を最も楽しみにしてくれた偉大なる祖父、故・浦野起央（日本大学法学部名誉教授）に本論文を捧げます。

## レファレンス

- 大井, 慈郎. 2011. インドネシア郊外ニュータウンの多層性: アジア的空間編成への視座. *社会学年報* 40: 51-61.
- . 2013. 東南アジア首都郊外インフォーマルセクター: インドネシアの露天商を事例に. *社会学年報* 42: 85-96.
- . 2020. 東南アジア首都圏の拡大における工場労働者の視座: ジャカルタ郊外の事例より. *日本都市社会学会年報; 日本都市社会学会年報* 2020 (38): 82-99.
- 小池 誠. 2010. インドネシア・カラワンにおける日系工業団地進出と周辺農村社会に生きる家族の変容. *南方文化 = Tenri Bulletin of South Asian Studies* 37: 45-59.
- 小林, 和夫, and KOBAYASHI Kazuo. 2014. スカルノのゴトン・ロヨン概念化と日本軍政. *創価人間学論集* 7: 23-44.
- 今野 裕昭. 1989. 都市化とインフォーマル・セクタ---インドネシアを素材にして. *秋田大学教育学部研究紀要. 人文科学・社会科学*(40): p111-126.
- 佐々木重次 編著. 2013. *最新インドネシア語小辞典 = Kamus kecil indonesia-jepang mutakhir*. 1st ed. 鳩山町 (埼玉県): Grup sanggar.
- 佐藤 博樹. 2020. ワーク・ライフ・バランス. *日本労働研究雑誌* 62 (4): 42-5.
- 佐藤博樹, and 武石恵美子 編著. 2011. *ワーク・ライフ・バランスと働き方改革*. 東京: 勁草書房.
- 内藤, 耕. 2008. インドネシアにおける日系工業団地と周辺農村との関係. *東海大学紀要. 文学部* 88: 87-102.
- 内藤耕, 倉沢愛子, 大井慈郎, 伊藤眞, 新美達也, and 小池誠. 2016-04-01 – 2020-03-31. *インドネシアにおける日系工業団地進出と地域社会変容に関する研究*. 16H03319.

- 西野 理子. 2005. やりがい意識の変遷とその形成. *東洋大学社会学部紀要 = the Bulletin of the Faculty of Sociology, Toyo University* 43 (1): 93-108.
- 間瀬, 朋子. 2010. 研究ノート 地縁・血縁にもとづく連鎖移動論を乗り越えて -中ジャワ州ソロ地方出身のモノ売りの事例から. *Ajia Keizai* 51 (9): 28-55.
- . 2011. インドネシア・中ジャワ州ソロ地方特定地域における人間関係と出かせぎ様式. *東南アジア研究* 48 (4): 367-91.
- . 2015. あるジャワ農村の現状：インドネシア・中ジャワ州クラテン県ウェディ郡の事例. *アジア太平洋研究センター年報 = CAPP Report* 12 : 40-7.
- 松園(橋本) 祐子. 2006. インフォーマル・セクター研究の系譜：過剰都市化論からグローバル化の中での労働のインフォーマル化へ. *淑徳大学総合福祉学部研究紀要* 40 : 101-15.
- 見田, 宗介(1937-). 1968. *現代の青年像*. 東京: 講談社.
- 由井 義通. 1999. 「アジアの大都市 2 ジャカルタ」 宮本謙介・小長谷一之. *地理科学 = Geographical Sciences* 54 (3): 241-6.
- 吉原 直樹, and Raphaella D. Dwianto. 2001. Dki ジャカルタにおけるグラスルーツの一存在形態(5) プダガン・クリリンについての素描. *東北大学文学研究科研究年報*(51): 200-173.
- Butler, Judith (2015) *Notes Toward a Performance Theory of Assembly*, Harvard University Press. (=2018 佐藤嘉幸訳 『アセンブリ：行為遂行性・複数性・政治』, 東京: 青土社).
- Giddens, Anthony (1990) *The Consequences of Modernity*, Polity Press, the UK. (=1993 松尾精文, 小幡正敏訳 『近代とはいかなる時代か? : モダニティの帰結』, 而立書房)
- Hochschild, Arlie Russell (2016) *STRANGERS IN THEIR OWN LAND Anger and Mourning on the American Right*, The New Press: New York. (=2018 布施由紀子訳 『壁の向こうの住人たち：アメリカの右派を覆う怒りと嘆き』, 東京: 岩波書店).
- Marx, Karl (1867) *Das Kapital. Kritik der politischen Oekonomie*, Hamburg: Verlag von Otto Meissner. (=1969 向坂逸郎訳 『資本論』 第1巻, 岩波書店).
- Weber, Max (1920) *Die protestantische Ethik und der Geist des Kapitalismus*, *Gesammelte Aufsätze zur Religionssoziologie*. (=1989 大塚久雄訳 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』, 東京: 岩波書店.)

## 付録

### 表一覧

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
性別	男性	男性	男性	男性	男性
年齢	35歳	28歳	29歳	30代	29歳
宗教	イスラーム	イスラーム	イスラーム	イスラーム	イスラーム
前職	Plaza Indonesia	カフェ店員	レストランの	モデル、	病院の料理人

	の店員、 船のクルー		ウェ이터、 建設労働者など	ボディガード	
現職	Angkringan <sup>56</sup>	Angkringan	床屋	靴・ヘルメッ ト・鞆などの ランドリー店	カキリマ（ナシ ゴレンやミーゴ レンなど）

【表 1】 対象者属性

Pendapatan 1 bulan berapa? (賃金はどれくらいか?)
Berapa jam satu hari kerjanya? Buka dari jam berapa sampai jam berapa? (何時間くらい働く? 何時から何時まで?)
kegiatan satu minggunya gimana? (1 週間のスケジュールは?)
Apa yang anda ingin atau butuhkan? (欲しいものは?)
Apa yang paling penting di dunia atau kehidupan masnya? (この世で一番大切なものは?)
Dalam kehidupan berapa persen kerja memenuhi kehidupan anda? (人生で何%くらい仕事が占めていると思うか?)
Apakah ada kekhawatiran? (心配事はある?)
Apakah ada yang membuat anda merasa sulit atau merasa gak enak? (つらい、しんどいと思うことは?)
apakah anda menikmati pekerjaan anda? (仕事楽しい?)
apakah anda merasa seperti bekerja saat anda bekerja? (仕事という感覚はある?)
apa yang sehari-hari membuat anda senang? (どんなことする時が楽しい?)

<sup>56</sup> Angkringan は焼き鳥などを売る屋台。鳥の頭や脚、腸などが串に刺さっており、それらに甘辛いタレを塗って焼く。また、Nasi kucing (ナシクチン) と呼ばれる、辛い味付けの魚とご飯がバナナの葉で包まれている食べ物なども売っている。大抵は屋台の隣に地面に座って食べる場が設けられている。付録の写真 1, 2 を参照のこと。

<p>Adakah waktu dimana anda merasa berguna tuk masyarakat?  (自分が役立っていると思うことある?)</p>
<p>bisakah pekerjaan anda bermanfaat terhadap masyarakat? dan apa itu?  (仕事を通じて社会に貢献していると思う?)</p>
<p>Apakah tujuan hidup anda itu untuk bekerja?  (仕事が生き甲斐?)</p>
<p>Apa tujuan hidup anda?  (生きる目的ってなに?)</p>
<p>Untuk apakah fungsi rumah bagi anda? Anda melakukan kegiatan apa aja di rumah?  (家は何するところ?家で何して過ごす?)</p>

【表2】 インタビュー質問項目 (カッコ内に日本語訳)

## 写真一覧



【写真1】 Angkringan (売っている食べ物)



【写真2】 Angkringan（外観）

インタビュー文字起こし<sup>57</sup>

Aさん

属性：35歳男性、イスラーム

現職：Angkringan屋

前職：Plaza Indonesiaの店員、船のクルー

日時：2022年8月4日18時2分

場所：Angkringan屋にて

R: Kalau pertanyaannya tidak begitu sopan, gak usah bilang ya jawabnya. Ok.

もし質問が礼儀を欠いているようだったら、全然答えなくて大丈夫ですからね。OK。

R: Biasanya berapa jam satu hari kerjanya?

基本的に1日何時間仕事する？

Kalau disini? [un.] berarti mulai masak itu kan jam...sekitar jam 2, jam 2 siang. [Sampai?]

Closing kira-kira jam 3 pagi. Berarti..13 jam. [Aduh..setelah itu gimana?] Setelah itu istirahat

lah. [Istirahat di rumah?] Un. Di sini. [Tidur?] Tidur. [Setelah itu? Bangun?] Bangun

dan kegiatannya kayak gitu lagi. Bangun masak. [Oh itu aja? Oke]

ここで? [うん。] つまり料理し始めるのでいうと…2時くらいかな、昼の2時。[何時ま

で?] 閉めるのは大体朝3時かな。だから…13時間だね。[わお…その後どうするの?] そ

の後は休むよ。[家で休む?] うん。ここで。[寝る?] 寝る。[その後?起きてどうする?]

<sup>57</sup> 文頭のRは筆者の発言を、何もついていないものは各インタビュー어의発言を表すものとする。ある人物が話している中で相槌を他の人が入れた場合、それが筆者あるいはインタビュー어의場合は□の中に、第三者の場合は基本的に「周りの人」と示した上で□内に入れている。インドネシア語を先に、日本語訳を直後に入れている。また、音声データとして聞こえなかった部分は（聞こえず）と表記している。

起きてさっきみたいな感じを繰り返す。起きて料理してって。〔それだけでいい？OK〕

R: Kemarin bikin tabacco kan? [iya, un.] Itu juga termasuk kerjanya?

昨日さ、タバコ作ってたでしょう？〔うん〕それも仕事に入るの？

Nggak. Itu kan buat pribadi itu. [Oh pribadi..] Buatan yang sendiri. Ada yang kalau mau beli, ya beli tabacco? kalau yang mau bikin ya bikin. [Oh itu aja] Kalau bikin kan lebih ngirit.

[Apanya?] Lebih..apa ya namanya?(周りの人に聞く) [周りの人：hemat] Lebih hemat, lebih hemat. [Oh hemat oh] [周りの人：Daripada beli di toko.] [oh ok ok]

いいや。それはプライベートで作ってるだけ。〔プライベートでね〕個人的に作ってるもの。もし買いたい人がいればタバコ？買うじゃん、作りたきゃ作るって感じ。〔あ、そういうことか〕作るとより安いんだよね。〔なんて？〕より…（インドネシア語で）なんていうの？〔周りの人：経済的！〕そうより経済的なんだよ。〔あ、経済的ね〕〔周りのひと：店で買うよりもね〕〔あ、OK、OK〕

R: Umm..gimana sih…jadi setiap hari seperti itu? Satu minggu.

んー、どうしようかな。じゃあ、毎日そんな感じ？1週間。

iya.. [7 hari?] 7 hari! [Semua?] Semua!

うん、〔7日間？〕7日間！〔全部？〕全部！

R: Mas buka angkuringan ini tahun berapa ya?

お兄さんは何年にこのアングリンガン（焼き鳥屋のようなもの）を開いたの？

Baru jalan 3 bulan disini. [Oh begitu! 3 bulan!? sebelumnya lakukan apa saja?] Sebelumnya ya masing-masing. Beda-beda. Ada yang kerja dimana, ini baru barang disini. [Oh gitu ya.. aku pikir udah..udah] lama nggak. [Kenapa..eh jadi bukanya bukan hanya 1 orang saja tapi beberapa orang] kadang-kadang 1 orang.. kan kadang-kadang dia pulang ke rumah di Cibubur. Saya sendiri..kadang-kadang saya pulang dia sendiri..gitu

最近だよ3ヶ月前だね。〔え、そうなの？3ヶ月？その前は何してた？〕その前はそれぞれ違うね。どこかで仕事してて、でこれを一緒に開業したって感じ。〔そうなんだ…私もう結構…相当…〕長いかと？うん。〔なんで…えっと…じゃあ1人で開業した？それとも何人かで？<sup>58</sup>〕時々1人かな…だって時々彼（仕事仲間）がCibuburに帰省するってなったら俺が1人だし、俺が帰るってなったら、彼が1人で、って感じ。

---

<sup>58</sup> \* 質問内容が上手く伝わらず、「開業」ではなく「開店」と間違えられる。

R: Kenapa mau buka angkuringan?

なんでアンクリンガン開こうと思ったの？

Kenapa nggak? [wkwk] Iya kan? [Memang enak ya] Jadi uang apa aja. Iya kan? Yang penting dapat uang. [Memang memang]

なんで開かないの？逆に。[笑笑] そうですね？ [そうだね、いいよね] お金になるからだよ！そうでしょ？重要なのはお金を得られるかどうかだよ。[確かに確かに]

R: Uang itu untuk opo?

お金ってなんのための？

Uang itu buat apa aja. Iya bebas kan pribadi masing-masing. Mau buat jajan ya buat jajan

お金はなんでも（全て）のためだよ。自由でしょ、それぞれ個人の使い道。お菓子が欲しければお菓子のためだし。

R: Tapi kalau orang Jepang yang aku tahu itu selalu mau.. apa menabung uang aja yang banyak sekali.

でも、日本人は、自分の知ってる範囲だけど、いつも…なんていうか、お金を貯蓄したがるの、沢山のお金。

Ya semua pengin kayak gitu. [Oh mas juga pengin] Ya pengin. Cumannya kalau butuh apa? Ya beli. Itu aja. [Beli apa saja yang makanan?] Ya makanan dan rokok [Rokoknya langsung datang itu..wkwk Sangat penting ya] Penting banget [sedang rokok juga] Itu nomor 1 kalau laki-laki rokok. [Rokok, nomor 2 apa] Nomor 2..korek lah [wkwk] [周りの人：Atau bisa aja bawa korek nggak bawa rokok dapat rokok] jadi nomor 2 rokok..wkwk

うん、みんなしたいでしょ。[あ、お兄さんもしたいの?] うん、したいよ。ただ、それが何のためかって、買うこと、だけでしょ。[何買いたい？食べ物とか?] うん、食べ物とかタバコとか [タバコがすぐ来るのねそこに…笑 めちゃくちゃ大事じゃん] めっちゃ大事だよ [今もタバコ吸いながらだし] 男性なら1位だと思うねタバコ。[タバコの次2位は?] 2位… (冗談まじりに) ライターだね (笑) [周りの人：それかライター持ってればタバコ買えばいいだけだから] じゃあ2位がタバコだね…笑

R: Apa yang anda ingin atau butuhkan sekarang?

今なんか欲しいものある？

Sekarang yang butuhkan yang semuanya pasti butuh uang lah. Makanya kerja. Terus..(Kalau

ada uang selain rokok apa aja) Iya Semuanya lah. Pengin beli (聞き取れず) yang lebih bagus, beli HP yang lebih bagus, semuanya (聞き取れず) nya kayak gitu orang.

今欲しいものはやっぱお金でしょ。だから仕事してんの。あとは... [もしお金があったらタバコ以外に何が欲しい?] 全部だよ。もっと良い (聞き取れず) 買いたいし、もっと良い携帯買いたいし、全部。(こういうのは) 人間みんなそうじゃない。

R: Tapi gapapa kan kalau tidak ada yang baru. [Gak masalah! Gapapa] (聞き取れず) aja kalau ada rokok. [Kalau rokok yang gak bisa kalau gak ada harus beli] Iya memang  
でも別に新しいそういうのなくても大丈夫でしょ? [全然問題ないね、大丈夫] ただ (聞き取れず) だけだねタバコあれば [タバコないとか吸えなかったら絶対買う] うん確かにね。

R: Apa yang paling penting di dunia atau kehidupan masnya?

世界で、それかお兄さんの人生で、何が一番大事?

Apa sih..kenyamanan sih intinya..mau kerja gajinya berapapun kalau gak nyaman saya gak juga. [Jadi nyaman ya? Dengan angkuringan] Nyaman banget. [Nyaman tuh gimana?] Iya kita kan kerja meskipun jamnya panjang tapi kan bisa santai gak terus gak diatur-atur orang.

[Oh iya iya memang ya] Saya paling gak suka diatur orang [Saya juga saya juga setuju memang katanya gak boleh dengan perasaan saya] [周りの人：mempengaruhi..] [Iya memang..gapapa]

なんだろう...心地良さかな、つまり..たとえ給料が高くてでも心地よくない仕事は俺はやりたくないし。[じゃあ心地良いんだね? 今アングリンガンやってて] めちゃくちゃ良いよ。

[nyaman ってどういう感じ?] うん、俺らはどれだけ長く働いてもゆっくり出来るし、他人に仕切られ続けることもないしさ。[うん、うん、確かにね] 俺が一番嫌いなのは決めつけられること。[うん私も私も、賛成本当に。やばい、(FW って) あんまり自分の感情入れちゃいけないのに笑] [他人：影響しちゃうからね] [そうそう...まあいいや]

R: Apakah ada khawatirannya?

心配事とかある?

Khawatir apa [Gak tahu apapun gapapa dengan kerja] Dengan kerja khawatirnya kalau lagi dagang sepi [Gak mungkin enak sekali] [Iya ya yang khawatirannya cuma sepi kalau sepi memang khawatir] Iya lah khawatir kan kita dagang penginnnya laku semua. [Oh iya ya ya biasanya bisa?] Bisa. Kemarin kan tinggal berapa..beberapa tusuk maksudnya bagus [Oh gitu ya]

心配事ってどういう? [分かんないけどなんでもいい、仕事に関してとか] 仕事に関する心

配事はもしお客さんが来なかったらとかかな。〔あり得ないね、だって美味しいもん〕〔うん、そうだね、心配事って言ったらお客さんが来ないことしかないよね、確かにそれは心配だ〕うん心配でしょ、俺ら売り物が全部売れて欲しいんだ。〔なるほど、いつもはどう？出来てる？〕うん出来てる。この前はちょっとだけ売れ残ったけど…何本かだったらまあ良いかな〔そうなんだ〕

R: resepnya..resep tuh resep? dalam bahasa indonesia?〔Resip masakan?〕Ya itu dari mana? dari mas?

レシピは…あ、レシピってインドネシア語でもレシピで合ってるよね？〔料理のレシピ?〕そうそれってどこから？お兄さんが作ったの？

Uji coba bikin sendiri terus kalau rasa oke kita jual.  
自分で試作して、良いかなって思ったら売ってる。

R: Ujinya kapan biasanya?  
試作はいつやるの基本？

Sebelum buka. sebelum ke angkuringan si mas tuh (聞き取れず) saya coba terus kita makan kira-kira kita rasa enak kita jual.

開店前だね。アングリングンに来る前にその兄さん(仕事仲間)が(聞き取れず)、俺が試して俺たちで食べて美味しい感じだったら売るね。

R: Aku..aku pikir memang dibanding maaf ya gak tahu yang lain tapi dibanding dengan yang dulu yang saya makan di Malang itu juga memang enak tapi dibanding itu lebih enakya disini.

〔Terima kasih〕 Tapi gak tahu kenapa dan saya juga mau tahu resepnya gimana..kalau jual di jepang pasti berlaku..aku pikirnya..〔Tapi kan kalau di Jepang kan biayanya..〕 Ah iya ya memang sih tapi biasanya 1 tusuk 20..30ribu.〔Berarti sepuluh kali lipat dari harga sini ya〕 Iya ya bisa tapi memang sekarang situasi korona makanya〔Ya itu..〕 Jadi itu juga susah ya..

私…私思うんだけど、本当に、比較して…いや本当にごめんなさい、他の人は分からないけど、でも私が Malang にいたときに食べたのと比較してみても、いやそれも美味しかったけど、こっちの方がより美味しいの。〔ありがとう〕でもなんでか分からないし、だから私も知りたいなって思ったの、レシピどんなもんか。もし日本で売ったら絶対売れると思うよ私は〔でもやっぱ日本はお金高いじゃあ〕あ、うん、確かにそうだけど、1本200円とか300円とかで売れそう〔ってことは10倍だねこの値段の〕うん、売れる。でもやっぱ今コロナ禍だからね…〔うんそうだよね…〕だから難しいよね…

Yang bikin angkuringan sini nya sebenarnya itu korona. Dia kan itu di kafe. [Kelihatannya coffee shop ya memang masnya ganteng itu maksudnya terus gimana] Ya itu lah karena korona gak kerja akhirnya kan bingung kan cari uang jadi yang ini. Apa lagi aku baru satu bulan disini. [Yakin!/? serius!/?] Kalau masnya kan dari opening kalau saya baru sebulan. [Kelihatannya sepuluh tahun disini] Mukanya sini banget ya melokal banget.

このアンケートを始めようと思ったのも実はコロナが理由なんだよ。彼（仕事仲間）は前カフェにいたんだ。[見た目コーヒョップにいそだもんね、お兄さんかっこいいってこと、つまりは。笑 うん、それで?] うん、それでコロナのせいで仕事ができなくなって、最終的に困ってしまってお金のためにこれ始めたんだ。むしろ俺なんてここに来たの1ヶ月前だからね。[本当に?真面目に言ってる?] 彼は開業した時からいたけど、俺はまだ1ヶ月だよ。[見た目10年ここにいるって感じなのに!] 顔がめっちゃ「ここ」って感じでしょ、ローカルって感じね。

R: Sebelumnya? Ada di? Cikarang? Gak?

その前は?どこにいたの?Cikarang?違う?

Gak. [Dimana?] Dimana ayo tebak. [Ayo!] Mau jujur atau mau biasa aja? [Jujur!] Saya kerja pernah di Jakarta. Di PI, Plaza Indonesia. [周りの人: Di dalam PInya?] Saya di XXI, di dalem kafanya. Gak lama sih kan saya gak suka yang ribut-ribut. Ngrokok juga gak bisa! di dalam! Pas giliran ngerokok belum satu batang... "Lu dimana udah rame" ya udah! Iya kan? [Gak suka ya]

違う。[どこ?] どこでしょう、当ててみて。[ねえ、いいから!] ちゃんとしたの答えて欲しい?それともテキトー? [ちゃんとしたの!] ジャカルタで働いてたことあったよ。PI、Plaza Indonesia。[周りの人: PIの中のどこ?] XXIにいた、カフェの中の。長くなかったよだって大変なの俺好きじゃないからさ。タバコ吸うのもダメだったし!中で!1本吸い終わってないのに呼ばれるし「君どこ?もうお客さんいるよ」ってさ。あーもうこりごり!って感じでしょ? [好きじゃなかったんだね]

R: Jadi maksudnya menikmati ya perkerjaannya?

じゃあつまりこの仕事は楽しいんだね?

Menikmati. Ya..intinya sih kebutuhan juga kan kita harus punya uang. Meskipun cape ya kita nikmatin aja itu tergantung orangnya aja. Kita mau dapat berapa kita dapat berapa. Kalau kita syukurin ya udah.

楽しいよ。うん、つまりさ、必要だからっていうのもそうだけど、俺たちお金ないといけないじゃん。疲れてても楽しむだけだよ、人によるとは思うけど。これくらい(お金が)欲し

いってなったらこれくらい貰うして。(でも)感謝するくらいになったら、うんもういい。

R: Tapi ada yang mambuat mas merasa sulit? Atau merasa gak enak?

でもなんか困ったり、嫌な思いしたりすることない?

Gak. Gak ada disini. Nyaman semua.

ないね。ここではない。全部が心地良いね。

R: Kalau di Jakarta gimana?

じゃあジャカルタではどうだった?

Kalau di Jakarta emang dulu ya gak suka aja. banyak tekanan juga kan dari atasan, dari supervisor..harus gimana-gimana..tapi itu dulu 2014 saya. Terus selebihnya saya kerja di kapal sih di ship. [Untuk opo?] Kerja di kapal sebagai ABK/anak buah kapal, awak. [Kemana aja?] Taiwan pernah. Malaysia, Marta Italy...

ジャカルタでは、その当時ね、その当時は好きじゃなかったよ。プレッシャーも大きかったし、仕事で上司とか監督官からこうしろああしろってね、でもそれはもう 2014 年とかのことだよ。それで、残りは、船で働いたよ、ship ね。[何で?] 客船で乗組員、クルーとして働いてたんだ。[どこに行ったりした?] 台湾とかマレーシアとかイタリアのマルタ島とかもあるよ。

R: Pada waktu itu juga ada kesulitan ya?

その時もしんどいことあった?

Gak ada sih. Gak banyak juga sih iya lumayan aja kalau dibanding kerja disini lumayan.

[Lebihnya disini?] Cuman kalau disana kan kita pulang satu tahun sekali kan. Kontrak. Setiap hari. Pas kemarin terakhir 2020 kan di Marta pas itu korona saya mau habis kontrak satu bulan setahun lagi kita ditawarkan kontrak perpanjangan. Saya gak mau. Akhirnya saya pulang. Saya kira kan korona itu mau paling 4 bulan atau 6 bulan udah kelar eh malah sampai sekarang kan? Akhirnya susah pas kemarin saya mau berangkat lagi sudah email juga sih sama persahaan cuman kalau kapal itu kan kerjanya harus pake sertifikat, sertifikat itu kan 5 tahun sekali harus perpanjangan revalidasi. Revalidasi pas itu tuh saya gak punya uang harus revalidasi semua, terus paspor mati, ya udah lah nanti dulu cari uang dulu disini. Iya tapi selama mau nyari uang tapi saya rasanya nyaman di Indonesia sih meskipun uangnya sedikit tapi nyaman. Itu aja. Gak tahu berkat apa lagi, apa enggak.

いやなかった。そんなに多くはなかったっていうか、まあまあかな。この仕事と比べたらま

あまあってとこ。[ここの方がいい?]ただあの仕事だと1年に1回しか帰れないんだよね。契約で。毎日この前の2020年最後にマルタでコロナが流行って、契約が終わろうとしていて、1年1ヶ月後に契約延長を打診されたけど、俺はしたくなかった。それで帰った。俺が思ってたのは、コロナが4ヶ月とか6ヶ月とか続くかなって、でも今の今まで続いているでしょ?最終的にこの前もう1度行こうと思ってたし、会社にメールも出してたんだけど、難しかった。というのもただ船って働くのに証明書がいるんだけど、その証明書って5年に1度更新して再検証しなきゃなんだよ。絶対そんな全部を再検証するお金その時なくて、あとパスポートの期限も切れてて、じゃあもう後でいいやって。ここでお金稼いでからにしようと思った。でもお金を貯めている間に、インドネシアがやっぱり心地良く感じてさ。お金は少なくても心地良いんだ、それだけ。分からないもう一度恵みが来るかどうかは。

R: Apakah Anda merasa seperti bekerja saat Anda bekerja?

仕事している時、仕事してるって感じる?

Gak. Saya rasa sedang main-main dengan teman saya. Iya kan? [Mas juga merasa seperti itu? (→Mas yang rambut panjang へ聞く)] [Mas: Kalau disini ya.] Kalau di tempat lain gak tau kan. kalau disini jujur aja seperti main.(Makanya kelihatannya bahagia memang selalu senyemu-senyemu merokok juga) Ngrokok, ngopi (Ah saya juga mau deh kalau gitu angkuringan resipnya mana?)

いや。友達と遊んでるって感じかな。[お兄さんもそんな感じ?(→仕事仲間のお兄さんに聞く)] [お兄さん:ここはね、そうだね。]他の場所なら分かんないじゃない?ここなら正直遊んでるみたいだよ。[だから幸せそうで本当にいつも笑っててタバコも吸ってる]タバコ吸うし、コーヒー飲んだりね。

R: Apakah ada dimana anda merasa berguna untuk masyarakat?

どこかで社会のために役に立っているなど思うことある?

Kalau untuk masyarakat gak tau sih belum pernah kayaknya. [Gak usah masyarakat atau orang lain atau gak tau tuk apapun gapapa tapi berguna maksudnya] Ya...dimana ya..dimana aja juga berguna sih kalau kita mau. Iya kan [Iya memang] Kalau kita gak mau ya udah.

社会のためになんて分かんないよ、ないんじゃないかな。[社会とか他人とかじゃなくても、分かんないけど、なんでもいいよ、役に立ってれば] うん...どこでだろうね...どこでも役に立ってると思う、もし僕たちがそうしたいと思うなら。そうだろう? [そうだね確かに]僕たちがそうしたくないなら、まあそれならそれでもう(いい)。

R: Tapi kenapa aku bikin pertanyaan ini karena orang Jepang yang selalu sibuk-sibuk itu

kayaknya ya sendiri-sendiri dan juga mereka katanya memang gak merasa kayak berguna cuma bekerja aja memang karena ada tugas, oke harus selesaikan tapi gak tahu berguna atau tidak seperti itu.

でもなんでこの質問をしたかって言うと、いつも忙しくしてる日本人はなんか彼らがよく言うのは役立っている感じがしないって。ただ働くだけ、だって（こなすべき）仕事があるから。オッケー、終わらせなきゃって、でも役立っているかは分からない、みたいな。

Iya kalau disini juga ya berguna sih kalau teman lagi kesusahan lagi sibuk kita bantuannya kita berguna berarti kan? [Un memang memang] Iya kan? Kita saling bantu aja.

うん、ここでも役立ってるよ、もし友達が今困ってるとか今忙しいとかだったら僕たち手伝う。それって役に立ってるってことじゃない? [うん、確かに] そうでしょ? 僕たちはただお互いに助け合ってるだけ。

R: Oh jadi itu maksudnya selain kerja ya? Bantu teman..

じゃあつまりはそれ仕事以外でってことだよな? 友達助けるのって。

Kadang-kadang kan teman susah ya apa aja butuh uang satunya. Iya kalau kita punya kita bantu. Saudara..ya kayak gitu saling bantu. [Itu gotong royong ya memang iya gotong-royong itu memang baik sekali sih]

時々、友達がお金が欲しいとかなんでも困りごとがある。それでも僕たちがお金あるんだったら助ける。身近な人とか、うんお互いに助けるってそういう感じ。[それってゴトン・ロヨンだよな、やっぱりいいよねゴトン・ロヨン]

R: Apakah tujuan hidup anda itu untuk bekerja? Itu kerja atau tidak?

人生の目的は仕事をする事? 仕事? それとも違う?

Tujuan hidup..berat sekali itu..tujuan hidupnya..buat hidup lebih baik lah. Kita berarti harus bekerja cuman ya (聞き取れず) Jawabnya susah buat jelasin kata-katanya..

人生の目的、めっちゃ重いね...人生の目的でしょ...よりよく生きることかな。僕たちが仕事をしなければいけないただ (聞き取れず) 返答が難しいね言葉を説明するのが。

R: apakah bahagia?

幸せ?

Bahagia banget. [Dengan kerja ini memang] Bahagia!<sup>59</sup> [Dibanding dengan sebelum

---

<sup>59</sup> 食い気味に。

korona?) Bahagia lah.. [Atau ketika di jakarta atau di kapal] Dimana-mana tuh kita harus bahagia lah kita kan buat..meskipun ada susahny dimanapun kerjanya ada susahny ada bahagianya tapi ditanya sekarang bahagia iya bahagia. Gak, gak mungkin kalau di tempat kerja itu gak ada kesusahan pasti ada, gak mungkin susah terus. pasti ada bahagianya. itu aja sih. Iya kan? Di Marta meskipun susah, jauh dari keluarga, tapi kan banyak orang. Disini lebih..lebih kefamiliar lah disini kefriendly meskipun.....bisa rokok bisa ngopi. [Tapi gak ada susahny] Gak ada sih. Kan kita saling bantu. Gotong-royong lagi.

めちゃくちゃ幸せ。[やっぱりこの仕事だから?] 幸せ! [コロナの前と比べて?] 幸せだね。[それかジャカルタにいた時とか船にいた時(と比べて)] どこにいても僕たちは幸せじゃないといけないよ僕たちが作るんだよ、困難があってもそれはどこで仕事していたって困難はあるし、幸せもある。でもじゃあ幸せですか?って今聞かれたら、うん幸せだよ。困難がない職場なんてありえない、困難は絶対にある、でも困難はずっと続きはしない。絶対に幸せはあるんだよ。それだけ。そうでしょ? マルタでもしんどいことはあった、家族から遠いし、けど、人が沢山いる。ここはもっとなんか気軽っていうかここはフレンドリーだね、タバコも吸えてコーヒーも飲めるし。[しんどいことはないの?] ないよ。だって助け合ってるもん。またゴトン・ロヨンがきたね。

R: Itu aja sih. Makasih.

それだけ。ありがとう。

Sama-sama.

どういたしまして。

## B さん

属性：28 歳男性、イスラーム

現職：Angkringan 屋

前職：カフェ店員

日時：2022 年 8 月 4 日 18 時 54 分

場所：Angkringan 屋にて

R: Berapa jam satu hari kerjanya?

一日何時間仕事する?

Kalau saya sih bangun ah dari tidur dulu ya tidur jam pagi 4, jam 5 jam 5 pagi bangun jam 10. [Eh jam 10...pagi?] Pagi. [Cuma 5 jam aja?] Iya. Kadang 6 jam. Pokoknya maksimal tuh bangun jam 11. Jam 11 itu maksimal. [Oh setelah itu?] Setelah itu cuci muka. Cuci

muka, terus siapin bikin kopi kadang-kadang bikin kopi terus merokok, terus siapin product, nyuci product. Itu udah jam 11. Pokoknya gak lama dari cuci muka ataupun siap-siap. Ya udah cuci..cuci..product, terus masak, potong-potong apaan, nusuk sate, nusukin, terus.. apa ya, ya ngeracik bumbu lah semuanya itu. Bikin sambal, gitu-gitu. [Sampai jam..] Sampai jam tadi 4, 5. [Setelah itu buka] Setelah itu buka. [Dan sampai..jam..] 3. [Aduh jadi berapa jam ya kerjanya] Itu kurangi tidur aja. 24 jam kurangi tidur 5 jam. [Jadi itu maksudnya? 19 jam] Iya. [Gak sulit?] Gak. Karena itu satu udah kebutuhan. Kedua karena ya senang aja gitu gak terikat kemanapun. Contohnya gak terikat kemanapun ya kayak ke persahaan ataupun ke orang ke siapapun lah. Iya kita sendiri aja. Jadi kebebasan. [Yang bebas itu penting ya untuk mas] Iya kebebasan itu penting sih. Soalnya kan memang kebebasan itu bukan berarti bebas dalam hal apapun, ya, gitu. Dalam arti kebebasan itu yang positif. contoh, ya kayak gini kita bebas mau ngrok mau apa gitu. tapi kan kita menghasilkan gitu. [Iya memang memang] Menghasilkan.

僕は起きるのは、あ、寝るのから言うと、寝るのは朝4時とか5時、5時かな、で、朝10時に起きる。[え、10時?朝?]朝。[たった5時間だけ?]うん。時々6時間。とにかく遅くても11時には起きるよ。11時がマックスだね。[うんその後は?]その後顔洗う。顔洗って、それでコーヒー作る準備して、時々コーヒー作ってそれでタバコ吸って、それで商品(売り物)の準備して、商品洗って。それでもう11時。とにかく顔洗ってから準備するのにそんな時間かかってない。うん、洗って、製品洗って、それで料理して、なんか切ったりして、サテ<sup>60</sup>を刺して、刺して、それで、なんだろう、調味料混ぜて、それで全部かな。サンバル<sup>61</sup>作って。そんな感じ。[何時まで?]さっき言った時間まで。午後4時とか5時まで。[その後店開ける?]その後開ける。[それは何時まで?]朝3時。[わ、じゃあ何時間仕事するの?]寝る時間以外だよ。24時間から寝てる5時間を引く。[じゃあつまり?19時間?]うん。[しんどくない?]いや。だってまず1つには必要だから。2つ目には楽しいから、どこにも縛られてないから。どこにも縛られてないっていうのは例えば、なんか会社とか誰かとかなんでもだよ。僕たちは自分たちだけでやってる。だから自由だよ。[お兄さんにとって自由って大事なんだね]うん、自由は大切だね。だって、自由って物・事なんでもから自由って意味じゃないよ。ポジティブな意味で自由。例えば、こんな感じ、タバコ吸いたければ吸っていいし、何かしたいならしていいとか。でも稼いでる。[うん、確かに]成功してる(稼いでる)。

R: Jadi maksudnya mas juga menikmati pekerjaannya?

じゃあつまりお兄さんは仕事楽しんでるんだね?

---

<sup>60</sup> インドネシアの焼き鳥のこと。

<sup>61</sup> 唐辛子などをすり潰したりして作るインドネシアの調味料。各家庭や地域ごとに作り方が異なる。

Menikmati sekali. Menikmati sekali terus apa ya ya enjoy. Enjoy banget.

すごく楽しんでるよ。すごく楽しんでるし、なんだろうエンジョイ。めっちゃエンジョイしてる。

R: Sebelumnya gimana?

前は どうだった？

Sebelumnya di kopishop di koffee. selama..berapa ya [周りの人：Lebih dari 2 tahun] 19..2019..sampai [周りの人：2022] Gak dong 21 dong. 2 tahun lebih. [Kenapa mas juga tahu?] [周りの人：Karena saya sering main di kopi-kopian gitu] Karena kita hidup bareng. Aneh kan kalau gitu. kalau bilang gitu aneh 'hidup bareng'. Gitu! Selama itu cuman diambil ilmunya aja gitu kan jadi tahu cara bikin kopi, cara apa apa harga mesin kopi, atau apapun lah itu yang ada di perusahaan bisa diambil gitu. Kelak nanti ada uang atau ada ya nemu apa gitu bisa jadi peluang gitu dari ilmu kopi shop itu.

前はコーヒーショップにいた。何年間だっけ？ [周りの人：2年ちょっと] 19...2019年から [周りの人：2022] 違うよ (20) 21年だよ。2年ちょっとだね。 [なんでお兄さんも知ってるの？ (→周りのお兄さんに聞く)] [周りの人：だってコーヒーよく行ってたもん] だって僕たち一緒に生きてるから。変だなそう言う。 「一緒に生きる」って言うと変だけど、そんな感じ！その期間中に (コーヒーショップの) 知識を得ただけ、だからコーヒーの作り方を知って、コーヒーマシンの値段がどんなかとか、あとなんでも。それが企業にいた時に得られたこと。将来お金があったら、機会があれば、そのコーヒーショップの知識を活かせるかなって感じ。

R: Jadi masnya memutuskan buka angkuringan?

じゃあお兄さんは Angkringan 開くこと決めてたの？

Ya. [Cuma sendiri aja?] Sendiri. Awalnya sendiri selama 2 bulan. Sebulan? 2 bulan? [周りの人：Sebulan] Sebulan. [周りの人：Ini baru.] Baru. [Iya katanya seperti itu ya] Saya dari awal. Dari awal. [Kenapa ada masnya?] [Mas : Dia kerjanya disini.] [Setelah itu?] Udah sesimple itu. Sesimple itu. Dia udah gak kerja disitu ya udh, disini. Sesimple itu. Tak ada apapun kayak persyaratan apapun gak ada. Sesimple itu. [Gak ada sertifikat atau yang lain] Gak ada.

うん。 [1人で?] 1人で。最初は1人で、2ヶ月間。1ヶ月かな? 2ヶ月? [周りの人：1ヶ月] 1ヶ月。 [周りの人：ここ新しいんだよ] 新しいね。 [うんそうみたいだね] 僕

は最初からいた。一番最初から。〔なぜお兄さんがいるの？（周りのお兄さんに聞く）〕  
〔お兄さん：彼がここで働いてたから〕〔その後？〕それだけだよ。シンプルにそれだけ。彼がここで働いてて、それだけ。ここで。シンプルにそれだけ。何もないよ、条件とかは何も。シンプルに。〔証明書とかないもんね〕ないよ。

R: Jadi 3 bulan yang lalu masih belum kenal dengan masnya?

じゃあ3ヶ月前までは知り合いじゃなかったの？

Udah. 〔周りの人：Memang teman-teman〕〔Oh teman〕Tapi gak akrab gak kayak ini. gak akrab banget. 〔Hidupnya bersama ya mas-masnya〕Sedikit aneh sih itu.

知り合いだったよ。〔周りの人：友達だったよ〕〔友達ね〕でもそんな仲良くはなかったよ、こんなにはね。めっちゃ仲良いつてわけじゃなかった。〔一緒に生きてるんだねお兄さんたち〕ちょっと変だねそれは。

R: Apa yang anda ingin atau butuhkan sekarang?

今何が欲しい？

Sekarang? Sekarang yang ini.. 〔Masa depan juga gapapa〕Kalau sekarang sih ya kedamaian 〔周りの人：Kamu belum damai ya〕Belum damai banget sekedamaian dalam arti...apa ya pokoknya kedamaian tuh kedamaian dalam hati dan pikiran gitu. Contoh kayak ada kayak ada pemikiran untuk apa gitu kan masih resah masih kebanyakan resahnya. Karena kan saya udah punya istri dan anak kan. 〔Oh jadi ada dimana ya?〕Di Cibubur. Istri Cibubur.

〔Jauh?〕Jauh. Anak di Jawa. Di Jawa tengah Brebes. 〔周りの人：Arah Jogja itu.〕  
〔Jogja!? Eh jadi mas aja ada disini?〕Un istri di Cibubur, anak di Jawa. 〔Bingung..〕Ya itu karena tadi dalam konteks kedamaian atau itu ya itu. Keresahannya disitu. Gimana caranya untuk berkumpul dalam artian bukan dalam artian berpisah ya karena keadaan. Ya nanti juga rencana sih Desember itu akan tinggal semua disini. Desember. Istri kerja. 〔Kalau anak itu berapa sekarang?〕6 bulan. Yang tadi seumurannya itu. Yang tadi digendong<sup>62</sup>. 〔Yang tadi〕Itu beda 5 hari. 〔oh 5 hari aja!?〕Iya 〔Aduh hidupnya memang bersama ya〕Itu januari juga tapi beda eh 10 hari. Anakku tanggal 10 dia tanggal 20. 〔Aduh memang akrab sekali ya itu nasib memang〕Takdir.

今？今は... 〔将来でもいいよ〕今は穏やかさかな。〔周りの人：まだ穏やかじゃないってことか〕すごく穏やかではないよ、ある意味ね、その穏やかさの意味としては...なんだろうと書く心とか考えとかの面での穏やかさって言う意味。例えばなんかについて考えて

---

<sup>62</sup> Cさんの子どもがこのインタビューの前に通りかかった。その子どものことを指している。

るとして、その何かにはまだ多くの気を揉むことがあるって感じ。僕、妻と子供がいるから〔彼らはどこにいるの?〕 Cibubur にいるよ、妻は Cibubur。〔遠い?〕 遠い。子供はジャワにいる、中部ジャワの Brebes。〔周りの人: ジョグジャの方〕〔ジョグジャ? え、じゃあお兄さんだけここにいるの?〕 うん、妻は Cibubur で、子供はジャワにいる。〔混乱する...〕 さっきの穏やかさっていう文脈はだからこれだよ、これ。これが気を揉んでることだよ。どうやったら一緒にいられるかなって、離婚とかそういう意味じゃなくて状況のせいで（離れてるから）。12月に一緒に住む予定なんだよ。妻は仕事。〔今子供は何歳?〕 6ヶ月。さっきの子と同じ年齢だよ。さっき抱っこされてた子。〔さっきのね〕 5日違い。〔おー5日だけ?〕 うん〔わ、本当に一緒に生きてるね〕 あの子も1月生まれで、でも、え、10日か。僕の子供は10日生まれで、彼のは20日生まれ。〔わ、本当に仲良しだね運命だね〕 運命だよ。

R: Apa yang paling penting di dunia atau kehidupan masnya?

世界であるいはお兄さんの人生の中で一番大事なものは何?

Keluarga. Anak dan istri.〔Setiap hari telepon?〕 Setiap hari. Chatting, telepon, video call.〔Mau ketemu?〕 Mau lah.〔Memang ya〕 Iya. Selalu kangen setiap hari. Soalnya kan saya sebagai suami lah kalau rumah tangga ya harus bertanggungjawab lebih dari keluarga gitu kan?

家族。子供と妻。〔毎日電話する?〕 毎日。チャットして、電話して、ビデオコールして。〔会いたい?〕 そりゃ会いたいよ。〔そうだよね〕 うん。いつも毎日恋しい。だって夫としてさ、家事とか、責任があるでしょ?他の家族（妻とか子供）よりも。

R: Kalau uang itu untuk apa?

お金ってなんのためのもの?

Uang itu untuk saya alat tukar.〔Maksudnya〕 Alat tukar. contoh ini aja<sup>63</sup>. Tanpa uang gabisa ditukar kan? Gak bisa dapat rokok.〔oh itu aja〕 Iya bagian alat tukar aja.

お金は僕にとって交換するための道具だよ。〔つまり〕 交換道具。例えばこれ（タバコ）。お金なしでは交換できないでしょ?タバコ貰えない。〔それだけだね〕 うん交換道具の一部なだけだよ。

R: Dalam kehidupan anda berapa persen kerja memenuhi kehidupan anda?

仕事はあなたの人生の何%を占める?

---

<sup>63</sup> タバコを見せながら。

Kerja memenuhi? Iya hampir.. kerja ya? Hampir 70 persen? Soalnya kan kehidupannya kan gak ada bangun tidur yang tadi kan? Iya itu kerja. 30 persennya itu ketemu keluarga. Kan kadang sebulan 2 kali ketemu keluarga tapi kalau keluarga disini semua baru balance 50 50. 仕事が占めるの? ほぼ...仕事だよな? 70%くらいかな? だって人生でさっきの寝て起きてとかないのが仕事でしょ。30%は家族に会うかな。時々1ヶ月に2回家族に会うけどもし家族がここに全員いたら 50,50 のバランスになるよ。

R: Tapi katanya mas yang tadi itu iya dua-duanya seperti itu, kalau...oke saya tanya sebelum pertanyaan yang tadi yang berapa persen aku tanyanya apakah ada mas merasa seperti kerja saat mas bekerja?

でもさっきお兄さん (AさんとCさん) に聞いたら2人ともそんな感じだったけど、じゃあ...OK、この質問の前に聞きたいのがあったんだ、お兄さんは仕事をしているとき仕事をしてるって感じる?

Sekarang? Bekerja..merasa bekerja? Iya. Karena ada tanggung jawab. Tanggung jawab bikin product, tanggung jawab ke customer, tanggung jawab keuangan semuanya lah bertanggung jawab. Jadi merasa kerja? Iya. Karena tanggung jawabnya tapi ya enjoy aja gitu. Gak tertekan aja gitu. Jadi kita yang ngatur sendiri. [Kayak main?] Iya kayak main. Kayak main tapi bertanggung jawab. [Jadi 70 persennya tetap] Iya 70% soalnya 30% itu masih ada keluarga gitu keluarga jauh. Maksudnya keluarga jaraknya jauh gitu. tapi kalau udah disini bisa 50 50.

今? 仕事...仕事をしてると感じるか? うん。だって責任があるから。商品(売り物)を作るっていう責任、お客さんへの責任、お金の責任、全部だよ、責任がある。だから仕事って感じるかな、うん。責任があるからね。でもエンジョイしてるって感じ。抑圧されてない。だから自分たちで決めてる。[遊びみたいに?] うん遊びみたい。遊びみたいだけど責任がある。[だから70%だねそのまま] うん70%、30%は家族がいるから、遠くに家族が。家族の距離として遠いってことね。でももしここに来たら 5050 になるかな。

R: Jadi main itu termasuk kerja?

じゃあ遊びが仕事に含まれてる?

Iya.

うん。

R: Biasanya orang yang saya tahu itu kerja dan main itu beda memang. Tapi selesai kerja baru mulai apa? Mainnya seperti itu. Minum alkohol atau bertemu dengan teman-teman.

普通私が知ってる人たちは仕事と遊びは違うもので本当に、仕事が終わってから初めて遊びがあるって感じ。お酒飲んだり友達と会ったり。

Konteks main kita sih apa ya gak kontesk main sekarang ya kalau yang tadi ketemu teman dan alkohol itu itu udah tahun-tahun lalu lah gitu. Tapi konteks sekarang itu bermain itu adalah berkumpul. berkumpul dimanapun gitu. Contoh ada teman, mau main, kita ke sini gitu. karena kita yang sambil bekerja mereka kalau ngerti ya kesini. kalau gak ya udah. begitu. [Ada levelnya ya kayak] Iya ada levelnya iya. karena saya basic nya gak yang nongkrong, main, kumpul-kumpul saya tipikal gak kayak gitu. Saya tipikal yang di rumah, dengar radio, iya dengar musik, coret-coret ya udah. [Karena kan sambil kerja bisa berkumpul memang] Iya. seperti ini ya. [Nongkrong juga bisa.] Nongkrong bisa. [Ngopi juga bisa.] Ngopi bisa. [merokok bersama.]

僕たちの遊びの文脈は、なんだろう、今言ってみたみたいな遊びじゃないんだ。さっきのは友達と会ったりお酒とかそれは何年も前の話。でも今の文脈だと、遊ぶっていうのは集まること。どこにでも集まるって感じ。例えば、友達がいて、遊びたいってなったらここに来る。だって僕たち仕事しているって彼らが理解してたらここに来るよ。もし理解してないなら、それまで。そんな感じ。[レベルがあるみたいだね] うんレベルがある。だって僕基本はあんまり喋ったり遊んだり集まったりしない人なんだ。僕はそういう感じじゃない。基本家において、ラジオ聞いて、音楽聞いて、絵を描いて、そんな感じ。[仕事しながら集まれるからってことね] うん、そういう感じ。[喋るのもできるし] 喋れるね [コーヒーも飲める] 飲めるね [タバコも一緒に吸える]

R: Apa yang sehari-hari membuat anda senang?

日常生活で楽しいと思わせてくれるものは?

Membuat senang.. [Atau bahagia atau gembira, enjoy] Merasa cukup sih. Cukup. Merasa cukup itu kayak kita rokok ada makan ada uang ada. [Oh kebutuhan yang minimalnya sudah ada] Iya cukup aja gitu cukup. Dalam artian cukup kita rokok ada nih gak usah minta makan ada masak sendiri kalau gak ada nanam dari ya tadi bilang kan kayak gitu<sup>64</sup>. Cukup. Uang ada gitu kan. Gak harus pinjem gak harus minta kayak gitu-gitu. cukup.

楽しいと思わせる... [それか幸せとか喜びとかエンジョイとか] cukup って思うことかな。cukup. cukup に思うっていうのはタバコがあって、食べ物あって、お金がある状態だよ。[必要なもの最低限があるってこと?] うん十分なだけ。そんな感じ cukup。cukup って意味の中には、タバコが吸えて、食べ物を乞う必要なくて自分で料理できても

---

<sup>64</sup> 先にCさんのインタビューを行なったため、その時の内容を指している。

しなければさっき言ってたみたいに植えればいいし。そんな感じ。cukup。お金あるし。借りたりしなくていい、乞わなくていいって感じ。それが cukup。

R: Kata.. menurut aku ya. Kata 'cukup' itu susah. susah sekali untuk pahamnya. Memang kalau dalam bahasa inggris 'enough' memang bisa paham tapi sedikit beda dengan kata itu tapi semua semua mas-masnya semuanya pake cukup cukup.

私からしてみれば、cukup っていう言葉が難しい。理解するのが難しいよ。確かに英語では enough なのは分かるけど、それとも少し違うと思う。でもお兄さんたちは cukup ってすごい使うね。

Iya tergantung keikhlasan sih. keikhlasan hati ya. Cukup itu. Kalau kita-kita ya kalau kita-kita itu cukupnya itu adalah menkeikhlasan dari hati gitu. gak melihat orang, beli apa terus kita mau harus beli gitu kan terus melihat orang, apa ya yang jangan melihat kanan-kiri lah gitu. Syukurin aja bersyukur lah [Dari Tuhan ya memang] Iya.

うん、ゆだねることによるよ。心をゆだねること。それが cukup。僕たちは、僕たちの話だけど、cukup っていうのは心からゆだねることだよ。他人を見ない、何かを買い続けたり、他人を見てこれ買わなきゃってなったり、なんだろう左右を見ない（他人と比較しない）ってこと。感謝するんだよ、感謝するの [神からだからね] そう。

R: Apakah tujuan hidup itu untuk kerja?

人生の目的は仕事？

Tujuan hidup sih membahagiakan di sekitar sih. membahagiakan sekitar gitu yang terjangkau oleh tangan kita sendiri gitu. Contoh keluarga, teman, sahabat, sanak saudara, terdekat lah gitu.

人生の目的は周りの人を幸せにすることかな。手が届くくらいの周りの人を幸せにする。例えば、家族、友達、親友、親戚、一番身近な人たちだね。

R: Itu bikin mas merasa berguna juga?

それがお兄さんを役に立ってるって感じさせる？

Iya berguna juga terus bikin kebahagiaan gitu kan untuk orang lain gitu untuk keluarga [Itu bukan untuk diri sendiri?] Tapi ngrasanya bahagia ngrasanya bahagia. [Jadi ada hubungannya ya] Iya ada hubungannya [Kalau sekitarnya bahagia saya juga bahagia] Sesimple saya bikin kopi ini kasih ini sama ke..ke..mas ini saya udah bahagia walaupun saya gak minum kopi. sesimple itu.

うん、ずっと役立ってるよ他の人のために幸せを作ってる、家族とか。〔それは自分のための（幸せ）じゃないの？〕でも幸せを感じてるよ。〔じゃあ関連があるんだね〕うん関連あるよ。〔周りを幸せにすると自分も幸せになれるんだね〕シンプルに言えば、僕がコーヒー作ってお兄さんにあげてそれで自分は幸せだよ、自分がそのコーヒーを飲んでなくてもね。シンプルにはそんな感じ。

R: Itu juga termasuk gotong royong?

それって gotong-royong に入る？

Gotong royong ah menurut saya sih. Beda ya soalnya kalau gotong royong tuh untuk masyarakat umum. Masyarakat umum, gotong royong. Tapi kalau untuk sahabat atau keluarga tuh melayani. Kalau gotong-royong kan secukupnya lah ya contoh kerja bakti itu jatuhnya ke gotong-royong tahu kan kerja bakti? Ya kayak gitu. Itu gotong-royong, bermasyarakat. Tapi kalau melayani kan kita yang kenal ataupun yang apa ya dekat lah dekat gitu. iya kayak gitu sih.

gotong-royong っていうのは僕からすれば、違うね。だって gotong-royong は一般の人に対してのだから。一般の人。gotong-royong は。でも親友とか家族へはサービス melayani だよ。gotong-royong だったら必要なだけやるって感じで、例えば地域奉仕とかは gotong-royong に入るよね、地域奉仕分かる？うんそんな感じ。それが gotong-royong、社会と交流する。でもサービスとか世話 melayani っていうのは知り合いで仲が良いって感じ。そんな感じだよ。

R: Apakah waktu dimana anda merasa berguna? Memang yang tadi juga memang..

どこで役に立っていると感じる？

Berguna ya untuk keluarga 〔Untuk keluarga〕 Untuk keluarga soalnya saya jarang bersosialisasi jadinya ya balik lagi tadi ke orang yang terdekat aja. Yang digapai oleh tangan, yang bisa dicapai oleh kaki yang terdekat. Jadi ke masyarakat kurang sih.

役に立ってるねえ、家族かな。〔家族ね。〕家族にだね、だって僕全然社交的じゃないからさ、だからさっきの話に戻るけど、近しい人にだけ。手が届めるくらい近い人、足が届くくらい近い、一番近い人。だから社会にはあんまりかな。

R: Apakah ada khawatirannya?

心配事ある？

Khawatir..untuk sekarang khawatir lebih.. khawatiran lebih apa ya sebagai orang tua sih. Untuk anak itu kan. Karena kan kita gak tahu anak akan tumbuh seperti apa gitu. Kelak nanti lah gitu. Itu khawatiran terbesar sih apalagi anak aku perempuan. Ngerti kan ngerti maksudnya untuk tumbuh dewasanya seperti apa [Itu gak termasuk keuangan? Cukup atau tidak] Keuangan itu akan mengikuti...kehidupan yang akan datang ya contoh kita kan sekarang kita kan sekarang kita gak tahu naik atau turun kan uang itu adalah bonus dari kerja keras kita sih bonus aja sih. Yang penting kan dari segi pemikiran dan apa ya perilaku lah mungkin ya kalau saya pribadi sih.

心配...今の心配事は、心配事は、親としての心配かな。子供に対しての。子供がどんな風に育つかなんて分かんないからね。将来。一番大きな心配はそれ、しかも僕の子供は女の子なんだ。分かるでしょ？分かるでしょつまりどんな風な大人に育っていくか。[お金の話も入ってこない？十分かどうかとか] 入ってくるだろうね、これから来る人生にね、例えば今はまだ分からないからさお金が上がるか下がるかなんて。お金はボーナスだから、よく働いたひとへのボーナス。重要なのは考え方とか、なんだろう、行動だね多分、これは僕個人の考えだけど。

## Cさん

属性：29歳男性、イスラーム

現職：床屋

前職：レストランのウェイター、たこ焼き屋、建設労働者など

日時：2022年8月4日18時22分

場所：Angkringan 屋にて

R: Apa yang paling penting di dunia atau kehidupan masnya?

世界で一番大切なものとか、お兄さんの人生の中で一番大切なものは何？

Yang paling penting di dunia? [Un atau kehidupan mas?] Banyak, berat! Kalau orang tua kan emang udah gak ada jadi sekarang penting apa lagi kalau soal kebahagiaan pasti penting ya. [周りの人：Kebahagiaan macam-macam] Ya bentuknya kan yaa kalau ini gak tak kasat mata kebahagiaan itu. [Maksudnya..] Kalau bentuknya fisiknya mungkin lebih ke keluarga kalau kebahagiaan yang terpenting. [Mereka<sup>65</sup>? Itu keluarga?] keluarga. [oh jadi keluarga memang] Keluarga ya. [Kalau kerja gimana? Atau uang.] Kalau soal kerjaan atau keuangan ya..agak berat...keuangan..nomor sekian sih. [Mas..mas tuh uangnya nomor 1?] Gak. Kalau untuk saya..kalau untuk keuangan nomor sekian. Gak terlalu yang harus banyak. [Kenapa?] Asal

---

<sup>65</sup> このインタビューの前に近くを通って挨拶した人たち。乳幼児を抱えたお姉さん。

udah gini, asal udah gini. Udah senang. [周りの人：Ini gimana, ini<sup>66</sup> dan ini<sup>67</sup>.] [Kalau gak bisa rokok gimana?] Kalau gak bisa ngrokok, yang penting makan. [Oh gapapa] Gapapa. Nah kalau gak bisa makan yang bikin pusing. Sebenarnya kan tolok ukur makan itu gak harus dibeli kan? Asal kita ada tanaman di rumah makanan yang bisa dicabut dari tanah ini...? Gapapa.

世界で一番大切なもの？ [うん、それかお兄さんの人生の中で一番] たくさんあるよ、(質問が) 重い！両親はもうどっちもないから今大切なものはなんだろうな幸せについては絶対大切だよ。 [周りの人：幸せって言っても色々あるじゃん] うん、幸せの形ね。この幸せに関してはお金のことじゃなくて。 [つまり?] 物質的な幸福より多分家族とかの方に行くと思う、最も大切な幸福って言ったら。 [さっき通った人たち？家族なの?] 家族だよ。

[あーじゃあ家族だねやっぱり] 家族だね。 [仕事はどう？それかお金とか] 仕事とかお金については...うん難しいな...お金...その次かな。 [お兄さん、お兄さんはお金が一番大事ってこと?] 違うよ。僕にとっては、お金は二の次。たくさんあるべきものではないかな。 [なんで?] 望みはもうこれだから (今のこの状況) これ！もう楽しいし。 [周りの人：これはどう？これ (タバコ) とこれ (ライター) !] もしタバコ吸えないってなったら？大切なものは食べることになるね。 [じゃあ大丈夫なんだ] 大丈夫だよ。だって食べられないってなったらクラクラしてしまうけど (タバコはならない)。実際、食べることの判断基準は絶対買うべきってことはないじゃん？家の庭に生えている食べ物があるじゃん、それを取れさえすればいいでしょ？大丈夫。

R: Kalau apakah mas menikmati pekerjaannya?

お兄さんは仕事楽しい？

Sangat menikmati dong. Sangat menikmati.

すっごく楽しいよ。すごく楽しい。

R: Biasanya gimana skedulnya? Kegiatan satu minggu atau satu hari juga gapapa.

普段どういうスケジュール？<sup>68</sup>1週間のでも1日のでも。

Kalau saya sih gak ada yang pasti sih. [Jadi?] Asal mengalir aja gitu. [jadi misalnya gimana?] Misal sekarang.. [Jam berapa..] Misal sekekrang kita melakukan pekerjaan ini. terus tahun depan beda lagi, tahun depan beda lagi, beda lagi. Gak masalah. Tetap dinikmati. [Di masa depan apa saja..] Di masa depan juga kita kan gak tahu. [Gak tahu] Un [Itu dulu melakukan apa aja?] Dulu pernah jadi kuli.. [apa?] Kuli itu apa sih namanya. [周りの人：Construction

---

<sup>66</sup> タバコのこと。

<sup>67</sup> ライターのこと。

<sup>68</sup> 間違えて解釈されたと思われる。1日のスケジュールではなく、仕事の変遷を答える。

worker yang bikin-bikin bangunan.〕Dulu pernah menjadi pelayan restoran, pernah jualan apa sih namanya jualan takoyaki, aku pernah jualan takoyaki〔Bisa itu bikinnya?〕Bisa!〔Itu biasanya berapa tahun?masing-masing〕Dulu 20..15 eh 16 saya jualan takoyaki koknya〔Dimana?〕Di masih daerah sini Jawa, terus sekarang menggeluti bidang hair-styling.〔Itu udah berapa bulan?〕Hair-styling..berjalan sekitar 1 tahun setengah.〔Belajar caranya gimana?〕YouTube<sup>69</sup>.〔YouTube? Sirius?〕Otodidak.〔Bisa buka?〕Bisa.〔Dari YouTube?〕Iya! Hehe serius!〔周りの人：Kalau di jepang tuh nggak ada belajar dari YouTube〕Serius?〔周りの人：Belajar itu sekolah..〕Saya gak pake kursus.〔周りの人：Kursus potong rambut gak pake ya〕Gak pake.〔Oh begitu ya..〕Ini yang jadi bahan, kelincinya, dia tuh. Percobaan.僕の場合はあんまり決まったのではないかな。〔というのは?〕流れに身を任せてるだけっていうか。〔例えばどんな感じ?〕例えば今だったら...〔何時とか〕今だったらこの仕事してる。で、来年は違う仕事、再来年も違う仕事、また違う仕事って感じ。問題ないよ。ずっと楽しい。〔将来何したいの?〕将来も僕たちには分からないよ。〔分からないか〕うん〔じゃあ前は何してたの?〕前は kuli〔何それ?〕kuli ってなんていうの?〔周りの人：construction worker だよ、建物建てる人〕あとレストランのウェイターやったことあるし、あれ売ってたことあるよ、名前なんだっけ。たこ焼き!たこ焼き売ってたことある。〔作れるの!?)出来るよ!〔どこで?〕まだこの周辺、ジャワだよ。あと今はヘアスタイリングの分野で働いてるよ。〔それって今何ヶ月?〕ヘアスタイリングは...一年半とかかな。〔どこでやり方習ったの?〕YouTube だよ。〔YouTube?まじ?〕うん!本当だよ!〔周りの人：日本では絶対 YouTube で学んだって人いないよね〕そうなの?〔周りの人：そういうのは(専門)学校で勉強するんだよ〕コース<sup>70</sup>は行ってないな。〔周りの人：美容コースは行ってないんだね〕行ってない。〔あーそうなんだ...〕彼(周りにいたお兄さん)はヘアスタイリングの実験台だよ。

R: Apa yang sehari-hari membuat anda senang?

毎日の生活で楽しいと思わせてくれるものって何かある?

Sehari-hari ya aduh banyak banget. Pekerjaan senang dapat duit banyak senang, terus mereka kumpul senang, terus bisa ngobrol bareng senang, ketemu Anda senang, anda senang, semua senang.〔周りの人：Jadi ekstrover ya orang nya ya suka dengan orang banyak〕Gak. Aslinya sih introver. Lebih senang mungkin 70% lebih senang sendiri. 30% tuh tapi berekspresi.〔70% melakukan apa aja〕70% saya sendiri di kamar, ngopi, merokok.〔Gak bosan?〕Gak. Tapi kan sambil mikir, 'Besok mau apa ya?', gitu.

毎日ね、めちゃくちゃたくさんあるよ。仕事も楽しいし、たくさんお金もらえたら嬉しいし、

<sup>69</sup> 当たり前かの仕草で。

<sup>70</sup> 塾や専門学校、講習会など学ぶ場所の総称。

あと彼ら（よく一緒にいる仲間たち）と集まるのも楽しいし、あとは一緒に喋れるのも楽しい。（指をさして）あなたと会えるのもあなたと会えるのも、全部楽しい。〔周りの人：じゃあ外交的なんだね、お兄さんは。たくさんの人と関わるのが好きっていうか。〕いいや。元々は内向的だよ。より楽しいのは多分70%くらいは一人にいる方が楽しい。でも30%は人と関わる<sup>71</sup>。〔70%は何してるの？〕70%は一人で部屋にこもってるか、コーヒー飲んでるか、タバコ吸ってるか。〔つまらなくなるかな？〕全然。考えながらいるからね。何したいかなとか。

R: Dalam kehidupan berapa persen kerja memenuhi kehidupan anda?

人生で仕事はどれくらいを占めてる？

Hanya 50 50 ya [Oh 50. yang selain kerja itu?] Main! [Tapi kerja itu bukan main? Karena mas bilang kerjanya santai.] Iya sih iya sih jadi berapa persen ya. Saya bingung kalau kerjaan berapa persen. berarti 30 % kerjanya ya.

50 50 くらいかな。〔おー50か。仕事以外の50は？〕遊び！〔でも仕事って遊びじゃないの？だってお兄さん仕事はゆったりするものって言ってたから〕うん、そうだね、だから何%だろうね。仕事は何%って悩むね。だから30%かな仕事。

R: Merasa seperti bekerja saat bekerja? Jadi apakah anda merasa bekerja banget saat anda bekerja?

仕事してる時、仕事してるって感じる？つまり、仕事してる時に、あーめっちゃ仕事してるな！って感じるかどうかってこと。

Lebih ke nongkurong ya lebih kemain sih. [Kalau gitu 50 50 tuh salah] Iya 30 lah. [kalau 70..] 70 nya lebih ke...apa ya..70% lebih ke sosial sih kayaknya. [Termasuk keluarga juga?] Termasuk keluarga. Keluarga hampir berapa persen ya 80% kayaknya. Asal udah telepon langsung pergi.

喋ったり遊んだりする方が近いかな。〔それなら50、50っていうのは間違いじゃない？〕うん、30だね。〔じゃあ70の方は？〕70はもっと、なんだろう70%は社会に行っているかな多分。〔家族も入ってる？〕家族も入ってるね。家族はほぼ80%くらいかな。電話かかって来さえすればすぐに行くね。

R: Apakah tujuan hidup mas itu untuk bekerja? Atau tujuan hidupnya apa?

仕事のために生きてる？人生の目的は何？

---

<sup>71</sup> 表現するとの意味の berekspresi だが、ここでは恐らく1人であることの対比としての他者と関わる、話す、の意味であると推測する。

Gak tujuan hidup bukan untuk bekerja. tujuan hidup..aduh berat banget sih. [Maaf tapi bukan kerja?] Bukan kerja. [Bukan uang?] Bukan uang. [Apa lagi sih] [周りの人：Berbuat baik, tujuan hidupnya berbuat baik] Justru itu. [Jadi?] Kalau bisa belajar lebih baik ya harus lebih baik lagi entah apapun secara bahasa, secara perilaku, secara hubungan, secara kalau yang finansialnya pasti. Harus lebih baik. Intinya perubahan sih. Tujuannya itu lebih ke perubahan. Lebih ke.. besok kita harus.. harus seperti apa? Terus biar apa? Gitu. Harus lebih kayak gitu sih. [Lebih baik daripada kemarin seperti itu?] Ya. [Gak usah kategorize ya kategorize kerja, keluarga..] Gak. [Tapi..] Kalau saya tujuannya kerja, pasti saya masih kerja sampai saat ini. Yang penting saya kan dari dulu pas kerja itu pasti ambil..ambil ilmunya kan? Ambil ilmunya. Terus ketika udah gak ada yang perkerjaan ya cari solusi! Biar gimana caranya dapat duit. beda sih mindsetnya. Lebih..lebih ke yang penting kita ngelakuin apa dulu. Toh pasti juga duit nyamperin ke kita. [Jadi uangnya untuk apa ya?] Uangnya pasti untuk kehidupan sehari-hari. Memang, memang sih banyak bahagiannya bisa dibeli dengan uang. Cuma kan ujung-ujungnya kita bakalan lebih ke ini sendiri sih yang kita bisa rasain kan? Gak harus yang..gak harus yang apa-apa dibeli, apa-apa dibeli toh kita bisa makan cuman sama garam sama ini asal kita bisa ketawa, pasti kan bahagia. Oh itu tujuannya! Gak usah jahu-jahu. Itu harus cari uang berapa banyak berapa banyak. [Itu aja sih orang jepang dengar nggak? wkwk] [周りの人：Jepang tuh tujuannya dapat duit biar kaya, bukan untuk cari uang sehari-hari.] [Selalu menabung uang aja dan sibuk dan mati langsung.] Apalagi sampai ke ulusan mati ya..aduh itu lebih lebih dalam lagi. Karena..karena..maaf kalau di indonesia kan yang mayoritas kan lebih ke ketuhanan kan itu udah pasti tujuan paling akhir karena kan hidup begini kan. [Iya.] Begini nih. Yang tadinya kita masih muda masih banyak teman masih remaja masih main toh makin tua makin sendiri makin sendiri makin sendiri...Akhirnya sendiri! Gitu lah. Pas mati sendiri kan? [Sendiri dan tuhan] Tuhan!

仕事ではないかな、人生の目的は。人生の目的ね...ああ、すごい重いね。[ごめん、でも仕事じゃないの?] 仕事じゃない。[お金じゃない?] お金じゃない。[他に何かある?] [周りの人：仕事は(人生を)良くする?] うんそう。[つまり?] もし勉強できたならより良いでしょう。もっとより良くならなきゃいけない何かは自分には分からないけど言語的に、行動的に、関係的にもだけど、もし金銭的にだったら絶対でしょう。絶対もっと良くならなきゃいけないよ。つまり、変化だね。人生の目的は変化すること。[昨日よりもっと良くってことそれって?] うん。[それはカテゴリー化する必要はないよね、仕事とか家族限定みたいな] 必要ないね [でも...] もし僕の目的が仕事だったら、多分今までずっと仕事してるはずだよまだ。大切なのは自分でしょう、以前仕事してた時は絶対知識(術)を得てたでしょ。その知識を得る。それで仕事が無くなったってなったとき、解決策を探すでしょう! どうやったらお金が貰えるかって。マインドセット(価値観)が違うんだよ。もっとなんていうか、

もっと重要なのは僕たちが何をすべきかでしょ？絶対どんな方法だってお金得られるんだからさ。〔じゃあそのお金ってなんのためのもの？〕 お金はやっぱり日々の暮らしのためのものだよ。やっぱり、やっぱり、たくさんの幸せはお金から得られるでしょ。ただ、最終的には自分が感じられることそのものになるだけじゃない？ 何を買わなきゃ、何を買わなきゃとかじゃなくて、塩と食べられて、笑えて、そうすればきっと幸せでしょう。あ、これだ目的！たいそうなことじゃなくていい。それってたくさんたくさんお金を得なきゃいけないって思う（ようなたいそうな）ことだから。〔それだけだよ、日本人の皆さん聞いてますか？笑〕〔周りの人：日本人はお金持ちになることを目的にしてるんだよ、日常生活のお金を得ることじゃなくてさ〕〔いつも貯金して忙しくなってそのまま死ぬって感じ〕 死の問題に発展する（死に到達する）なら尚更だよ、、これはもっと深い内容になってくね。だって、だって、ごめんねインドネシアでは神への信仰に大多数が向いてて、それがもはや絶対最終的な目的だよ。だって、そうやって生きてるもん。〔うん〕 そんな感じ。さっきのは僕たちがまだ若くて、まだ友達もたくさんで、まだ若者で、まだ遊んでるけど、だんだん一人になって一人になって一人になっていく、、最終的には独りだよ！そんな感じだよ。死ぬときはだって一人なんだから。〔一人で、神と〕 そう神と！

R: Itu gak mungkin ada dalam pendapat orang jepang karena tidak dekat dengan Tuhan dan tidak dekat dengan agama kan?

その考えは絶対に日本人にはないよ、だって神と近くないっていうか、宗教と近くないからさ。

Kalau berpikir logika ya kalau kalau ibaratnya kita nggak kerja pasti kan nggak makan kan? Tapi kan kalau orang-orang kita mah, pikirnya rezeki mah sebenarnya kan ada disini semua. Kita mau..mau nggak punya uang pun pasti nggak bisa makan. Rejeki itu ada disini ibaratnya. Hidup loh hidup! Walaupun kita gak bisa makan hidup! Walaupun kita tidur dimana tuh di hutan, hidup!

理論的に考えればね、僕たちは仕事をしなきゃ食べていけないよ？でも僕たち人間が福だと考えるものは実はそこに全部ある（転がってる）んだ。僕たちはお金が欲しくても欲しくなくても、絶対食べられない。福はここにあるんだよつまりは。生きるんだよ、生きる！食べれなくても僕たちは生きてるんだよ！僕たちがどこで寝ようと森の中で寝ようと生きてることに変わりはないんだよ！

R: Jadi setiap hari kalau habiskan waktu sendiri, biasanya pikirnya seperti ini? Filosofi? Makanya bisa jawabannya seperti ini?

毎日 1 人で過ごすってなったら、いつもこういうことを考えてるの？哲学？だからこんな答えができるの？

Nggak lebih ke kita tuh hidup buat apa sih gitu loh dulu ibaratnya ambisi banget kan pengen cari uang banyak tetap hidupnya gini-gini aja! Hidup sama aja! Pas banyak duit beli ini terus ketipu orang bisnis gini bisnis gini ketipu orang rugi, nyesep! Kesal! Kalau sekarang hidup begini biasa aja cuman makan tapi senang. Apa bedanya.

いいや、もっと僕たちはなんのために生きてるのかとかだよ、前はめちゃくちゃ意欲があったよお金たくさん欲しいって。でも人生はこんなもんだよ！ただ生きてることは同じ！たくさん給料が入って買い続けて人に騙されて、ビジネスして、ビジネスして、騙されて、損して、息苦しいよ！嫌になる！今はこんな風に普通に生活してるだけ、ただ食べるだけ。でも楽しいよ。何が違うのさ。

---

Cさん追加インタビュー

日時：2022年8月4日18時41分

場所：Angkringan 屋にて

Sebenarnya kan ada di Jepang orang-orang yang aduh namanya apa ya dia tuh hidupnya sampai ratusan tahun karena karena hatinya tuh ini. [周りの人：Oh yang hidupnya lama] IKIGAI ya bukan [生きがい？] Bukan IKIGAI ya? [生きがい tuh kayak tujuan untuk hidup dalam bahasa Jepang] [周りの人：Tapi dia gak kerja tuh] Nah kalau itu gak tahu deh [Apa cuman bapak doang] Yang dia tuh aduh namanya setelahnya? Apa ya lupa. [周りの人：Yang keturunan kerajaan tuh samurai itu kan kayak kerajaan itu bukan sih?] Mereka pun umurnya bisa lebih panjang karena hati tuh tenang. Apa tuh di Jepang ada loh. Orang-orang disana malah. saya tahu ilmu itu dari sana. [Jadi karena biasanya kan orang Jepang pikirnya kerja-kerja uang-uang gitu kan? Matinya cepat.] Mungkin Jepang yang zaman dahulu. [Oh zaman dahulu] Aduh [周りの人：Itu umurnya bisa lebih panjang.] Karena hatinya tenang. [Sopo sih] Aku gak tahu lupa. Biasanya kan mereka dengan makan yang tumbuh-tumbuhan terus hidup bertani makan makanan sehat. Investasi kesehatan.

実際、日本にいるでしょ、えっと誰だっけ名前、彼は100歳くらいまで生きたんだよ、だって心があればだから。[周りの人：あ、長生きした人?] IKIGAI だよ、違うっけ。[生きがい?] IKIGAI じゃないか? [生きがいは、日本語で人生の目的みたいなことだけど] [周りの人：でも彼は仕事してないでしょ。] それは知らない。[ただのおじいさん?] 誰だっけ、名前なんだっけ? 忘れた。[周りの人：王の子孫の人でしょ、侍の、王国みたいな感じの、違うっけ?] 彼らは長生き出来たんだよ、その理由が精神が落ち着いていたからなんだ。なんだっけ、日本にあるじゃん。日本人なのになあ。そこから僕はその知見を得たんだよ。[普通は日本人が考えるのは仕事仕事、お金お金って感じじゃん? それで早く死んじゃう] 多分昔の日本人だよ。[あ、昔のね] ああ... [周りの人：それってもっと長生きできるの?]

精神が落ち着いていたらね。〔誰だろう。〕 分かんない、忘れた。基本彼らは自然の草とか食べてて、農業やって健康な食事を食べてるんだ。健康への投資だよ。

R: Boleh minta tolong ceritakan lagi yang tadi ada levelnya dan kalau levelnya rendah cari-cari uang terus.

さっき言ったこともう一回言ってくれない？ さっきのレベルがあって、レベルが低いとお金を探し求め続けるっていうやつ。

Setiap orang punya level masing-masing dalam hidup. Kalau levelnya masih sebatas materi, bagi saya sih masih level dibawah. Justru level tingkat paling atas ketika dia itu sudah tidak memikirkan apa ya masalah materi, masalah keditnya kan gitu kan? Justru malah dia memikirkan tentang isi dari kehidupan. Kalau menurut sesi? Level paling tinggi kalau gitu.〔Itu maksudnya paling tingginya lebih dekat dengan Tuhan?〕 Lebih dekat dengan Tuhan.〔Jadi itu juga ada berhubungan dengan agama〕 Ada berhubungan dengan agama〔Mas islam ya?〕 Saya muslim.〔Kalau orang yang bukan islam, bukan muslim, gimana itu juga sama?〕 Sama! Sebenarnya sama aja.〔Iya ya.〕 Karena kan agama cuman..cuman asalnya ya agama kan alatnya trasportasinya kan tapi isinya bukan itu isinya kan tetap tetap ini kita gitu loh dengandengan yang oh kita tuh berawal dari mana gitu loh. Kita tuh asal-usulnya dari mana? Kalau soal agama kan cuman apa namanya dari dulu oh ya ini agama nya petunjuknya ini agama petunjuknya ini sekarang ini gitu loh. Cuman menyambungkan berarti kan? Harus nya kita lebih sadar ke kita tuh asalnya dari mana〔Dasarnya sama.〕 Dasarnya sama aja.〔Kalau manusia.〕 Kalau manusia.

人にはそれぞれ人生におけるレベルがある。もしそのレベルがまだ物理的なものに限られているなら、それは僕からしてみればまだレベルが下ってこと。逆に段階レベルの最も高いのはその人がすでになんていうかな、物理的な問題っていうか、金銭的な問題に囚われてない時だよ。彼が人生の内容について考えてるのに。一番高いレベルだとそんな感じ。〔それって一番高いレベルはより神に近いって感じなの?〕 うん、より神に近いね。〔じゃあこれは宗教とも関係がある話だね。〕 うん、宗教と関連あるよ。〔お兄さんイスラームだよ?〕僕はムスリムだよ。〔ムスリムじゃない人はどう?同じ?〕 同じ。実は同じ。〔そうだよ。〕 だってさ、宗教っていうのはただただ源だけで、宗教っていうのは道具で、交通手段でしょう、でも内容はそうじゃなくて、内容はこれでしょ、つまり我々自身ってこと、僕たちはどこから来たのかっていうことと共に。僕たちは元々はどこからなのか? 宗教っていうのはただなんて言えばいいかな、前から、あ、そうだ、これだ、宗教は指針で、方向はこれだよ、今はこれだよって感じ（で指し示してくれるもの）。ただ繋げてくれるものっていう意味だよ。本当は僕たちはもっと僕たちがどこから来たのかに気づくべきなんだよ。〔根本は一緒なんだね。〕 根本は一緒だよ。〔人間なら誰でも?〕 そう人間ならね

## Dさん

属性：男性 30~40 代、イスラーム

現職：靴・ヘルメット・鞆など磨き屋

前職：モデル、ボディガード

日時：2022 年 8 月 8 日 13 時 33 分

場所：D さんの店にて

Saya Jawa Solo bisa [Oh Solo bisa] Wonokiri bisa, karena bapakku kan dari Wonokiri.

ソロのジャワ語できるよ [ソロできるんだ] ウォノキリもできる、父親がウォノキリ出身だからね。

R: Skripsi saya mungkin termasuk apa ya sosiologi dan filosofi juga mungkin. Dan biasanya saya tertarik dengan kebahagiaan itu apa aja atau kerja itu gimana.

私の卒論は多分なんだろう、社会学と哲学に含まれるんだけど、あと基本的に私は幸福ってなんだろうとか、仕事ってなんだろうとか、そういうのに興味があるんです。

Oh gitu, gitunya ini ya

あ、そうなんだ。それがこれね。

R: Jadi..biasanya berapa jam 1 hari kerjanya?

では、普段一日何時間仕事してる？

Satu hari biasanya antar jam 4 sampai 10 malam eh jam 1 ya jam 1, 10 jam.

1 日基本朝 4 時から夜 10 時まで、違う、1 時までだから 10 時間かな。

R: Jadi rencana sehari itu gimana? Bangun jam berapa..

1 日の予定はどんな感じ？何時に起きて...とか

Bangun biasa jam 5. Solat subuh. Habis itu kita langsung aktivitas belanja untuk keperluan sore nanti pecel lele kebutuhan lah butuh sehari hari. Udah habis aktivitas, pagi antar anak iya kan belanja, habis itu masak, setelah itu aktivitas untuk ini laundry. Jadi kegiatan sehari itu full.

[Itu nggak cape?] Semuanya kalau kita syukur gak ada yang cape. Karena itu udah apa...kewajiban ya. Karena dunia itu tempatnya cape. [Iya] Tempatnya ujian. [Iya memang tempat ujian.]

普段起きるのは朝 5 時。朝のお祈りして。その後すぐに活動し始めるね、午後に必要になる

ものを買いに、pecellele とか、必需品ね、日常必需品。それが終わったら、子供を送って、買い物して、買い物終わったら料理して、その後このランドリーの仕事をするよ。だから1日の活動はフルだね。〔疲れしない?〕 全て私たちが（神に）感謝し続ければ、疲れることなんてないよ。だってなんていうのかな、義務だからさ。だってこの世は疲れる場所だから（当たり前）。〔うん。〕 試練の場所。〔うん、試練の場所だよ。〕

R: Kalau...apakah mas menikmati pekerjaan ini?

この仕事楽しい?

Sangat sangat menikmati. Ya karena kenapa saya menikmati ini hobi. Iya kan hobi saya bersih-bersih. Dulu saya pengawa, pengawa bos. Dulu saya pengawa bodyguard, di Jakarta. 〔Terus kenapa〕 Masa depan sebenarnya masa depan saya tidak ingin apa namanya terikat dengan pekerjaan. Pengen saya mandiri, iya kan. Punya usaha sendiri gitu. Itu lebih bebas kalau kita punya usaha kita lebih menikmati. Gak ada yang ngatur. 〔Mas sebelumnya juga suka cuci.〕 Apa namanya hobi saya tuh bersih-bersih...seperti di rumah..itu hobi. 〔Makanya sangat cocok ya.〕 Ya makanya ini pekerjaan ini saya senang iya kan karena bisa untuk bantu orang iya kan tapi ini hobi. Nggak ada yang kotor.

めちゃくちゃ楽しいよ。なんで楽しめるかっていうとこれ趣味だから。僕の趣味は綺麗にすること。前職はボディーガードだったんだ、ボスのボディーガードだよ、ジャカルタで。〔それで?〕 将来、実際、仕事に縛られたくないと思ったんだよ。自立したいってね。そうでしょ。自分のビジネスを持ちたいってね。ビジネス持った方ががもっと自由だしもっと楽しめるしね。管理してくれる人がいないから。〔お兄さんは前から洗うことが好きだったんですね〕 なんて言うかな、僕の趣味は綺麗にすることだよ、家で、とか。それが趣味。〔だからすごい合ってるんだ〕 うん、だからこの仕事やってて楽しいんだ。だって人を助けてるのにそれが趣味なんだからね。汚くないね。

R: Jadi itu maksudnya mas tidak merasa seperti kerja saat mas bekerja?

じゃあつまりお兄さんは仕事しているとき、仕事って感じじゃない?

Tidak. Kita ini happy, enjoy. 〔Karena hobi kayaknya.〕 Hobi! Enjoy! Benar-benar enjoy!

全然。ハッピー、エンジョイ。〔だって趣味みたいなもんだからね。〕趣味だよ！エンジョイ！本当にエンジョイしてる！

R: Kata dia<sup>72</sup> disini sangat murah. 〔Iya.〕 Dibanding dengan yang lain. Itu kenapa?

彼曰く、ここはすごい安いって。〔うん。〕 他と比べて。それはなんで?

---

<sup>72</sup> 私の知り合いで、同行者。彼は D さんのお店の常連。

Karena 1; Kita ini promosi promosi awal kan kita tarik pelanggan gimana caranya kita ini pelanggan itu puas dengan hasil yang murah iya kan pelanggan kuwa kalau di mal-mal sekitar 90 sampai 100. Cuci sepatu. Ya. Karena saya udah cek di LIPPO di Jakarta, teman pun buka ini landry seratus pak sepatu kurang lebih antar 80 sampai 90. Helm, sama. Disini mungkin terendah. Karena saya harus tarik pelanggan cari pelanggan. Itu aja promo. [Itu kata dia selalu bilang ini terlalu murah padahal bersih memang dan juga apa dia puas memang selalu setelah sudah selesai.] Itulah kepuasan saya, harus ini; memuaskan pelanggan bagaimana caranya biar balik lagi. [Memang balik lagi (dia) terus wkwk]

だって、まず第一に、プロモーションしなきゃでしょ、お客さんを惹きつけるにはここがお客さんをどうやったら満足させられるか、安いっていう結果でね。そうでしょ、お客さんを満足させる。モールとかだと大体 90~100 (.000 ルピア) くらいだよ。靴磨きにね。そう。だって僕もうチェックしたから、ジャカルタの LIPPO とか、友達もランドリー開いているけど、100 パックで 80~90 (.000 ルピア) くらいだよ。ヘルメットも同じくらい。ここは多分 1 番安いだろうね。だって僕はお客さんを惹きつけたり探さなきゃいけなかったからさ。プロモーションってだけだよ。[それ彼いつも言ってるの、安すぎるって。綺麗にしてくれるのに。そしていつも本当に終わった後、満足そう。] それだよ、それが僕の満足。こうでなきゃいけないんだよ、お客さんを満足させるにはどうしたらいいか、また来てくれるには。[現に彼戻ってき続けてるし]

R: Oh kalau gimana ya umm apakah ada khawatiran?

心配事はある？

Semuanya pekerjaan tuh beresiko. Sangat beresiko. Saya pun khawatir. Khawatir nanti pelanggan itu kecewa, ataupun kabur, semuanya ada. Karena semua pekerjaan itu resiko. Takutnya nanti barang hilang atau berkurang. Tetap saya pun hati-hati itu yang utama: hati-hati.

全ての仕事はリスクが伴うよ。とってもリスクがある。私だって心配だよ。心配なのは、あとでお客さんが失望してないかとか、いなくならないかとか。全てあるよ。だって仕事は全てリスクがあるから。怖いのはあとで物が無くなったり減ったりしないかとかね。僕だって気をつけてるんだよ。重要なのは気をつけることだ。

R: Apa yang paling penting didunia? Atau kehidupan mas?

世界であるいはお兄さんの人生で一番大切なものは何？

Yang penting itu kita bisa bermanfaat untuk orang lain. Hidup itu. Kalau kita udah bermanfaat

untuk orang lain insya Allah. [Itu bermanfaat itu maksudnya berguna.] Berguna, kita berguna untuk orang lain, keluarga.. [Itu ada hubungannya dengan kebahagiaan mas?] Iya. Itu ke-satu kebahagiaan. Saya membantu orang, orang bisa bahagia, itu satu kebahagiaan.

大切なのは他人の役に立てることだね。それが人生。他の人の役に立てたら神の思し召し<sup>73</sup>だね。[つまり berguna (役に立つの別の言い方) ってこと?] そう、他人の役に立つ、家族とか。[それはお兄さんの幸せにも関連する?] うん。それが一つの幸せだね。人を助けて、その人が幸せなら、それが一つの幸せだよ。

R: Dalam kehidupan mas berapa persen kerja memenuhi kehidupan masnya?

お兄さんの人生の中で仕事は何%占めてる?

Kurang lebih hampir 100 persen lah kita bekerja untuk keluarga. Selebihnya yaaa kita luangkan waktu buat keluarga. Itu aja. [Itu maksudnya kayak kerja memang termasuk hobi dan senang untuk keluarga juga jadi maksudnya makanya kerja itu 100 persen ya] Iya karena itu kebutuhan. Kalau kita kerja ada hasil, tempat sudah 100%. Itu kebutuhan.

100%くらいじゃないかな、家族のために働いてるから。残りは、家族のための時間に使ってるかな。それだけ。[それはつまり趣味も仕事に含まれてるし、楽しい senang し、家族のためであるから 100%ってことですね] そうだね、だって必要だからさ。もし働いて結果が出てるなら、100%を占めるね。それが必要だから。

R: Apakah ada yang membuat mas merasa sulit atau merasa nggak enak?

お兄さんを困難な気持ちにさせたり、しんどかったりすることある?

Tidak ada. Semuanya nyaman. Yang saya jalanin karena ikhlas jadi nyaman. Tidak ada beban. ないね。全てが快適だよ。私が行ってることは神が定めたものだから。快適だよ。負担はないね。

R: Kalau ini pertanyaan yang sangat sulit dijawab.. [Boleh!] Apa tujuan hidup Mas?

これは答えるのがとても難しい質問かもなんだけど。(いいよ!) 人生の目的って何?

Tujuan hidup itu, satu aja. Ke depan lebih baik. [Lebih baik itu seperti gimana?] Lebih baik untuk masa depan anak dan keluarga. [Itu harus menabung uang atau..] Harus! Harus! Karena masa depan anak itu kan kita harus harus di ini harus dari sekarang. Anak mau kuliah, mau lulus sekolah. Harus pikirkan dari sekarang.

人生の目的は、一つだけ。より良くなること。[より良くなってどんな感じ?] 将来の子供と

---

<sup>73</sup> insya Allah は「神の思し召しにより必ずや、きっと」という意味だが、ここでは、神の思し召しと訳することにした。

か家族のためにより良くてこと。〔それってお金貯めなきゃ...〕いけないよ！貯めなきゃいけない！だって子供の将来のために今から貯めなきゃだよ。子供が大学に行きたいってなって、学校を卒業したいってなんたらさ、今から考えなきゃいけないでしょ。

R: Tapi kalau..kalau ya ini...Iya kalau biasanya orang Jepang itu kalau pikir seperti itu pasti lebih baiknya..harganya lebih mahal. Kenapa tetap?

でももしそうなら...普通日本人ならそう考えたら絶対もっと良いのは...もっと値段上げるよ。なんでそのままなの？

Tapi sekarang gini. Kita punya harga mahal, tapi pelanggan gak ada. kita harga murah, tapi pelanggan banyak, itu berkat. [Itu lebih penting ya.] Lebih penting. Kita jangan mencari banyak, tapi gak dapet untung. Kita sedikit tapi banyak. Itu untung. [Jadi kayak apa ya definisi untung itu seperti itu ya.] Ya. Kalau ilmu Cina, sedikit itu banyak. Tapi banyak sedikit, itu gak (聞こえず) berkat.

でもこうだよ値段が高いが、お客さんがいない。値段安くて、でもお客さんがたくさん。これが神の恵みだよ。〔それがより重要だね。〕もっと重要。多く求めちゃいけない、(多く求めたら) 幸運は来ない。少しだけど沢山。これが幸運。〔じゃあなんか、untung の定義がそういう感じか〕 そう。これは中国の知見だよ、少しだけど沢山っていうのが。でも沢山は少ないんだ。これは恵み (聞こえず) じゃないよね。

R: Terakhir, kenapa saya sangat tertarik tntg kebahagiaan, karena memang di jepang itu ada banyak orang yang gak senang tapi kerja gitu. Dipaksa maksudnya merasa dipaksa dan juga tidak berguna untuk masyarakat atau orang lain. Padahal memang ada tugasnya dan bisa selesaikan tugas, tapi itu yakin berguna atau tidak..seperti itu. Makanya mereka kayak memang kerja tapi gak senang dan gak bahagia seperti itu. Kalau didepan mas ada orang yang seperti itu, kalau kasih message kepada dia gimana mas messagenya?

最後に、なぜ私が幸福にすごく興味があるかと言うと、日本には本当に楽しくないのに仕事をしている人が多いの。やらされているって思ってるみたいな感じで、それに社会とか他人の役に立ってないと思ってる、仕事はあるんだけど、それを終わらせることもできるんだけど、でもこれ本当に役に立ってるのかな？みたいな感じ。だから、彼らは仕事してるけど楽しくないし幸せじゃないという感じなの。もしお兄さんの前にそういう人がいたら、その人になんてメッセージ送る？どんなメッセージ？

Sekarang gini. kita berpikir positif. apapun pekerjaannya kita hargai. Entah itu pemulung, entah itu pengamen, kita berpikir positif saja. Kalau bisa kita membantu, kalau memang membutuhkan. Iya kan? Kalau emang ada kesulitan orang tersebut, kita bantu. Kita sarankan,

jangan begini. Kalau emang ini gak baik, jangan! Kita bantu harus.

ポジティブに考えるよ。どんな仕事も価値があるんだ。ゴミ拾いの人だって、大道芸人<sup>74</sup>だって、ポジティブに考えるだけだよ。できるなら手助けするし、もし本当に必要なら。そうでしょ？もし本当にその人に困難が訪れたら助けるし、アドバイスもするよ、そういうことしないでとか。これが本当に良くないことなら、ダメ！助けなきゃいけない。

R: Dan juga mereka pikir tujuan kehidupan itu menabung uang atau jadi kaya tapi gak senang. Itu gimana?

彼らは人生の目的がお金を貯めることとかお金持ちになることだと思ってて、でも楽しくない。それはどう？

Sebenarnya itu gak masalah karena itu tergantung hati. Kalau saya gak pengen kaya. Kalau saya pengen cukup. Kalau oranglah cukup udah nyaman. Kita mau pergi ke mana ada. Mau undangan ada, itu cukup. Tapi kaya gak menjamin cukup. Kalau orang kaya, dikasih mobil satu masih kurang dengan dia. Tapi kalau orang cukup, kita ada motor pun kita syukuri. Ada terus solusinya, itu aja: prinsip. [Kata cukup itu penting ya memang.] Iya penting iya. Pasti kalau kaya, kita gak ada angkanya. Gak ada yang cukup. Tapi kalau cukup, itu kebahagiaan. 実際それは問題じゃないよ（悪くない）。だってそれは心次第だから。僕は別にお金持ちになりたくないけど。cukupになりたいね。人は cukup だと生きやすいだから。どこかに行きたいってなって行ける。招待したい、できる。それでもう十分。でもお金持ちは cukup を保証はしてないよ。お金持ちの人だったら、一台の車をもらって、彼にとってはまだ足りない。でも cukup の人なら、バイクでも（神に）感謝するよ。解決方法はいつでもある。それが原理。[cukup って言葉が重要なんだね] うん大切。お金持ちだったら絶対数がないよ。cukup がない。でも cukup の人には、幸せがあるんだ。

## E さん

属性：29 歳男性、イスラーム

現職：カキリマ（mie goreng, nasi goreng, kwetiau）

前職：病院（Siloam Hospital）の料理人

時間：2022 年 8 月 22 日 20 時 37 分

場所：E さんの屋台にて

R: Berapa jam satu hari kerjanya? Buka dari jam berapa sampai jam berapa tidurnya jam berapa seperti itu.

---

<sup>74</sup> インドネシアにおいての大道芸人（pengamen）は、街の食堂（warung）などを音楽を奏でながら回り、お金を恵んでもらう人。

1 日何時間仕事してる？何時に（カキリマを）開けて何時までで、何時に寝てとか。

Dari keluar dari rumah itu jam 5 terus sampai tempat kerja beres-beres buka tokonya jam 6. Sampai jam 3 atau 4 pagi. Kalau tidur iya nanti habis subuh jam 6 jam 7 berangkat belanja habis itu habis belanja itu 1 jam kurang lebih, habis itu baru tidur. Bangun lagi jam 2an. Tidurnya sekitar 6 jam kurang lebih. Itu setiap hari. [Gak cape gak?] Cape, gak cape, iya dijalani! Udah pilihan, pilihan hidup.

家を出るのが（夕方）5時でそれから仕事場で準備して、夕方6時には店を開けるよ。朝3時とか4時までかな。寝るのはその後朝のお祈り終わって、6時とか7時には買い物に出かけてそれが終わったら、その買い物が1時間くらいかな、その後寝るね。で、昼2時くらいに起きる。寝てるのは大体6時間くらいかな。それが毎日。[疲れしない?] 疲れるも疲れな  
いも、やるしかない！選んだから！人生の選択！

R: Dari kemarin mas sering pake ‘pilihan’ ya memang. Kata ‘pilihan’. Itu sebelumnya kerjanya dimana?

昨日から<sup>75</sup>お兄さんは pilihan（選択）ってよく使うね。pilihan（選択）という言葉。じゃあ、前はどこで働いていたの？

Sebelumnya kerjanya di rumah sakit rumah sakit Siloam Hospital. [Sebagai?] Dibagian dapur juga. Sama untuk membuat ini makanan buat doktor buat perawat buat pasien. [Jadi di dapur ya] Iya. [Oh makanya bisa langsung bisa buka gelobak yang seperti ini.] Iya buka usaha kakilima ini. [Cara memasaknya dari mana?] Cara memasaknya? Cara memasaknya? Belajar! [Dimana? Di hospital?] Iya di rumah sakit itu. [Eh sebelumnya gak tahu sama sekali dan belajar disitu?] Iya disitu. sambil belajar. [Kwetiau juga?] Sama kwetiau dari kwetiau, pemroses kwetiau, kwetiau, mie, nasi goreng, bumbunya juga, semuanya disana, iya. Jadi kita nyerap ilmunya, masa kita mau kerja mulu kerja terus-terusan, ya usaha kan pengen usaha. Terus tambah lagi teman udah buka usaha. [Oh iya itu juga apa ada gimana sih mas dipengaruhi ya] Iya. [Itu kenapa? maksudnya teman..jadi.. gimana sih.. dipengaruhi oleh teman.] Oh pengaruhi teman iya. [Dengan baik ya itu maksudnya.] Yaa berterimakasih teman aja bisakah masa kita gabisa jalanin itu aja gitu ya udah lah. Udah ada modal dikit, baru. [Jadi motivasinya dari itu.] Iya. Ya kan ujung-ujungnya juga kerja itu lagi itu lagi. Sayanya pengen usaha. 前は病院で働いてたよ、Siloam Hospitals という病院。[何で?] キッチンでね。同じように食事作ってたよ、医者とか看護師とか患者のためのね。[じゃあキッチンにいたんだね] うん [だからこうやってお店をすぐに開けたのね] うん、このカキリマビジネスを開いたよ。 [料理の仕方はどこから?] 料理方法?料理の仕方?学んだんだよ! [どこで?病院で?]

---

<sup>75</sup> インタビュー前から E さんの屋台に通い、話をしていた。

そう、その病院でだよ。〔え、その前はやり方知らなくて、そこで学んだの?〕うんそこで。学びながらだよ。〔kwetiau も?〕うん同じ、kwetiau も、kwetiau プロセッサー（麵を作る時に使う）、ミーもナシゴレンも、調味料も全部そこからだよ。だからね、知識を吸収して、働くことだけしたい時に働き続けて、ビジネスしたかったからビジネスしただけ。それに加えて、友達ももうビジネスやってたからさ。〔そうだ、それに感化されたんだよねお兄さんは。〕うん。〔それはなぜ?つまり友達が...うーんなんだろう。友達に影響されて...〕そう友達に影響された、そう。〔いい意味だよな〕うん、友達には感謝してるよ。友達だって出来たんだ僕にもできるだろうって思った。(あと)すでに少し資本があったからそれがあって初めて(開くことにした)。〔じゃあ動機はそっからだね。〕うん。結局は仕事は繰り返し(同じこと料理をする)。(でも)僕はビジネスをやりたかったんだ。

R: dan juga ada lagi banyak sih. bentar. apa yang mas ingin atau membutuhkan?  
まだまだたくさんあるんだけど。待ってね。欲しいものとか求めているものは?

Membutuhkan apa? Membutuhkan gimana maksudnya membutuhkan apa? [Apapun gapapa kemauan, keinginan.] Kalau keinginan sih gak betul-betul...yang penting kan usahanya lancar. Yang penting usahanya lancar. [Gimana sih?] Usahanya lancar iya... [Yang datangnya banyak.] Iya. [semakin enak nasi gorengnya]

何を求めているか?つまり何を求めているかってどういうこと? [なんでもいいの、欲しいものとか、やりたいこととか。] 願望は、そんなにだけど、大切なのはビジネスが上手くいくことかな。重要なのはビジネスが上手くいくこと。〔何?〕ビジネスが上手くいく! [たくさん来てくれるとかね] うん。〔どんどんナシゴレンが美味しくなるとか〕

R: Gak ada yang mau ke mana atau beli sesuatu.. [Maksudnya?] Gak tahu. Biasanya kan mau ke luar negeri atau mau beli yang mahal-mahal yang seperti itu...Gak tahu.  
どこかに行きたいとか何をか買いたいとかない? [どういうこと?] 分かんないけど。普通は海外に行きたいとか高いもの買いたいとかそういう感じ。分かんない。

Kalau untuk sekarang belom ada lah. andai gitu? Pengen? [Iya.] Gimana ya.. [Gak ada ya memang?] Gak ada yang pasti lah. Gimana ya... [Gapapa kalau gak ada.] Ada, ada, bentar, selesai mikir dulu.

今はまだないかな。もしもってこと? 欲してるもの? [うん。] なんだろう... [本当になんだね?] 絶対ってものはないね。なんだろう。〔なかつたらないでいいよ〕ある、ある、ちょっと待ってね。考えてから。

R: Kalau..apa yang paling penting didunia atau kehidupan masnya?

世界であるいはお兄さんの人生で一番大切なものは何？

Paling penting? Keluarga lah. Keluarga. Istri sama anak. [Jadi ibu bapak.] Keluarga. Istri, anak, orang tua. [Jadi itu maksudnya grobak seperti ininya kerjanya untuk mereka maksudnya?] Ya buat istri dan anak. membuat siapa lagi? [Oh itu aja.] Un.

一番大切？家族だよ、家族。妻と子供。[お母さんとお父さん?] 家族。妻と子供と親かな。  
[じゃあこういう grobak とか仕事は彼らのため?] うん、妻と子供のため。他に誰のためだと? [それだけだね] うん。

R: Mas mau istri dan anak menjadi seperti apa? Itu maksudnya mas mau istri dan anak...karena kerjanya seperti ini kan beneran dapat uang untuk mereka, dan mas mau mereka menjadi senang atau bisa melakukan sesuatu atau gimana?

お兄さんは奥さんと子供にどんな風になって欲しい?つまりお兄さんは奥さんと子供さんに...この仕事彼らのためのお金を得るためにやってるから、お兄さんは彼らに嬉しくなって欲しいのか、何かをさせてあげたいのか、どんな風になって欲しい?

Iya lah, biar mereka menjadi senang lah. [Senang ya senang itu gimana?] Senang mencukupi kebutuhan istri sama anak. [Paham, paham.]

うん、彼らが幸せになるためだね。[senang ってどんな感じ?] 妻と子供の必要なものが充足するっていう senang だね。

R: Kalau dalam kehidupan berapa persen kerja memenuhi kehidupan masnya?

お兄さんの人生の何%くらい仕事が占める?

Kalau kerja? berjualan? [Berjualan yang seperti ini] Maksudnya? [Berapa persen?] (聞こえず) Apa maksudnya? [Jadi kan gimana sih gimana...jadi kerjanya maksudnya didalam kehidupan kalau yang pentingnya kerja, 100 persen memenuhinya. Tapi kalau 30 atau 50 itu maksudnya selainnya ada 50 atau 70 kan? itu biasanya ada orang yang bilang keluarga atau main atau ada yang bilang yang kemarin itu 100 persen karena kan dan aku nanya gak ada mainnya? gak kerja itu main! seperti itu. jadi kerja itu semuanya termasuk seperti itu.) kalau saya, sekarang ya, mungkin bisa 90 persen. [90 persen?] Iya. [Kenapa? 10nya.] 10 persennya kan kita gak mungkin tuluskan kerja. Karena pasti tubuhnya pengen istirahat pengen jalan sama keluarga bareng gitu. [Mas juga pikir seperti itu jadi maksudnya kerja itu gak yang kayak kerja tapi main.] Iya pasti lah kalau misalkan sepi kan main nongkrong sama yang lain, main HP, duduk-duduk kan ngobrol-ngobrol ama yang lain lah. [Dengan bebas ya itu.] Iya bebas lah. Iya ibaratnya sambil main juga sih. Kalau lagi gak ada orderan. [Masak juga senang?]

Senang lah. Senang lah. Gimana sih iya senang aja nikmatin.

仕事？売る仕事？〔この売る仕事〕つまり？〔何%？〕 どういうこと？〔だから、なんていうんだらう。仕事が、つまり、人生の中で、もし仕事が大切なら、100%を占めるでしょ。でももし30とか50だったらそれはつまりその他に50とか70あるわけじゃん。そうだったら普通家族とか遊びとか言う人がいて、あとこの前の人では、100%って言ってて、私が遊びはないの？って聞いたら、仕事が遊びだよ！って。そんな感じ。だから仕事が全部を含んでるって感じ。〕僕は、今は、90%かな。〔90%？〕 うん。〔なんで？10%は？〕 10%は仕事をやり続けるなんてことないじゃん。だって、絶対身体は休みたいてなるし、家族と一緒に散歩したいとかなるでしょ。〔お兄さんもそう思う、つまり仕事は仕事って感じじゃなくて遊びみたいなもの？〕 うんそうだよ。例えばお客さんが少なかったら他の人とゆったりおしゃべりしたり、携帯触ったり、他の人と座っておしゃべりしたりするじゃん。〔自由にね〕 うん、自由だよ。そう、遊んでるようなものだよ。注文がなければね。〔料理してるのも楽しいの？〕 楽しいよ、楽しい。なんだろう、ただ楽しいよ、楽しんでる。

R: apakah anda menikmati pekerjaan ini?

この仕事楽しんでる？

Nikmati banget. nikmat banget. [Nikmati banget ya memang bukan hanya menikmati aja tapi menikmati banget ya.] Iya menikmati banget. Tapi.. [Api opo?] Tapi gak nikmatnya pas lagi sepi, sepi, bete, itu gak nikmatnya. [Iya jadi khawatirannya seperti itu ya?] Iya khawatirnya. Yang namanya juga berjualan kan pasti ada ramenya ada sepinya gak mungkin rame terus. kalau pengen suruh milih, pasti pengen rame. [Emang ya itu biasa memang memang.]

めっちゃ楽しいよ。めっちゃ楽しい。〔めっちゃ楽しいんだね、ただ楽しいんじゃないかってめっちゃ楽しいんだね〕 うんめっちゃ楽しんでる。でも〔でも何？〕 でも楽しくないのは人がいない時とか、静かであつまらないときは楽しくないね。〔うん、じゃあ、そういうのが心配事？〕 うん心配。なんて言えばいいかな、売る仕事だから絶対人が多いときと少ない時あるでしょ、絶対にずっと多いことはないよね。どっちか選べって言われたら、絶対人が多くあって欲しいね。〔確かにそれはそうだね。〕

R: Apakah mas merasa seperti bekerja saat bekerja?

仕事してるとき仕事してるって感じる？

Gak. Gak. Soalnya kenapa kalau kerja itu ada tekanan dari atasan. Iya kan kalo kerja pasti ada tuntutan. Harus masuk jam sekian terus kerjanya harus ini itu pokoknya ada arahan lah. Gak kayak di toko sendiri. bebas. mau apain aja. [Iya.] Iya kan? [Main HP gapapa.] Main HP gapapa, mau berantakan juga gapapa tapi kan kalo berantakan. Kalo kerja kan kita juga sadar

sama pembeli gitu kan mungkin dimarahin lah suruh apa lah apa lah misalnya kerjanya belum selesai iya kan? Ada tekanan kan? [Di rumah sakit itu biasanya seperti itu ya?] Iya pasti lah. Kalau misalkan telat berapa kali nanti gak ada dapat uang tambahan, kan gitu kan? Ya kan? Pasti gak dapet uang lah.

いいや。いや。だって仕事って上司からのプレッシャーとかあるやつでしょ。そうでしょ、仕事って絶対要求がある。何時くらいに出勤して、仕事はこうじゃないとだめ、とにかく指示がある。自分の店だとそれがない。自由。何やりたいかってだけ。[うん。] そうでしょ? [携帯触っててもいいし。] 携帯触っててもいいし、整理整頓してなくても良いし。でももし汚くしてたら、仕事だと、買う人も気づいて多分怒られるよ、あれしろこれしろって、例えば、まだ仕事が終わってないとか。そうでしょ? プレッシャーがあるじゃん? [病院ではいつもそんな感じだったの?] うんそりゃそうだよ。例えば、何回遅刻したらあとでボーナスのお金もらえないとか、そんな感じじゃん? そうでしょ? 絶対お金もらえないよ。

R: Jadi berhenti kerja di rumah sakit itu gara-gara itu? Bukan?

じゃあ病院の仕事はそれが原因でやめたの? 違う?

Mungkin salah satu faktornya juga, tambah lagi udah dapat ilmu, terus ada modal, tambah lagi temen kan sebelumnya yang buka jadi termotivasi sama teman. Banyak pilihan lah.

多分一つの要因にはなったと思う。加えてもう知識は得たし、資金もできたし、あとはその前に友達が開いたから友達がモチベーションになった。たくさん選択はあるよ。

R: Tapi gajinya lebih dari sekarang?

でも今より給料は高かった?

sekarang! [Sekarang lebih?] Eh mungkin untuk perbandingan, mungkin karena saya baru berapa bulan buka mungkin perbandingannya sama. [Oh sama tapi semakin pasti semakin, semakin lama semakin deh.] Iya. [Semakin enak juga.] Iya mungkin harus konsisten. [Memang konsistennya penting.]

今! [今の方が多いの?] え、多分比べたら、多分今は開いてすぐだから多分比較したら同じだけど。[同じだけど、長くなればなるほど増えるってことかな] うん。[どんどん美味しくもなるね。] うん多分続けなきゃいけないね。[本当に続けることは大事。]

R: Adakah waktu dimana mas merasa berguna untuk masyarakat atau orang lain?

社会とか他人に役に立ってるなってどこかで感じることもある?

Berguna. mana ya? Berguna waktu..oh mungkin sama ini mungkin ada pelanggan jadi dia

kadang-kadang belum gajian ya. Kadang suka minta dulu nanti bayarnya kapan. Bayarnya nanti kalo udah gajian gitu. [Oh itu pada waktu itu.] Iya. [Itu kenapa bisa percaya?] Karena udah sering, gapapa kan udah sering. Kan biasanya bayar juga kan. Nanti gajian gajiannya seminggu sekali ya nanti kalau bayar setiap minggu hari minggu setiap minggu. Gitu. Sama ada lagi satu lagi. [Oh ada yang seperti itu.] Ada kayak gitu. Dia seminggu 3 kali 4 kali dia kalau udah ngerasa udah 3 kali atau 4kali dia udah stop. Saya bilang, jangan dulu ya udah 3 kali! iya kan. Nanti dia bayar lagi. Nanti gitu lagi.

役に立ってる。どこだろう？役に立ってるのはいつ...あ、多分同じだよ、多分お客さんがいるからその人が時々給料が入ってなくて。時々先に（ナシゴレンとか）もらってあとでいつかお金を払うんだ。払うのは給料が入ってからってこと。[あ、あの時<sup>76</sup>のね。] うん。[何故信用できるの?] だってよく来てるし、大丈夫でしょ、よく来るもん。基本払ってくれるから。あとで給料が、給料は1週間に一回ね、あとで毎週日曜に払ってくれる。もう1人いるよそういう人。[あ、いるんだ。] そういう人いる。彼は1週間に3、4回かな。もう3回か4回くらいに感じたら、彼はやめる。僕が言うんだ、後にしないでね、もう3回だよ！って。で払ってくれるあとで。それを繰り返す。

R: Bisakah pekerjaan mas bermanfaat terhadap masyarakat?

お兄さんの仕事は社会に役に立つことができますか？

Bermanfaat. Kayak tadi. Sama jawabannya.

役に立ってるよ。さっきみたいに。答えはさっきと同じ。

R: Tujuan hidup itu kerja atau tidak? Apakah tujuan hidup Anda itu untuk bekerja atau tidak? 人生の目的は仕事それとも違う？ 人生の目的は仕事のため？ それとも違う？

Tujuan hidup Anda... [Kalau orang jepang itu kebanyakan pikir seperti itu jadi karena tujuannya keuangan jadi bekerja itu tujuan. dapat uang itu tujuan gitu. Setuju atau tidak?] Kayaknya gak deh gak setuju. [Kalau mas pikir gimana?] Kurang setuju. [Kenapa?] Kenapa ya...Cuman kurang setuju kalo hidup itu tujuannya untuk kerja. [Kenapa? Dapat uang itu memang penting kan dan istri dan anak untuk makan juga kan?] Aku pikir dulu..

人生の目的... [日本人はよく多くの人がこんな風に考えるの、つまり目的がお金だから、仕事が目的だって。お金を得ることが目的だって。賛成？ 反対？] 賛成はしないかな。[どう考えてるのお兄さんは?] あんまり賛成しない。[なんで?] なんでだろう...ただあんまり賛成しないだけ人生の目的が仕事だって。[なんで？ お金を得ることは重要でしょ、奥さ

---

<sup>76</sup> インタビュー日より前の日に、この屋台の近くに住むあるお兄さんがナシゴレンを買った。しかし、彼は支払いをせずに帰っていった。Eさんも何も言わずいつも通りといった雰囲気です。その時のことを話している。

んと子供が食べられるためにも。) ちょっと考えてみてから...

R: Kalau di depan mas ada orang jepang yang pikir paling pentingnya keuangan dapat keuangan dan itu tapi dia memang gak begitu bahagia, pendapat Mas tentang itu atau kasih message kepada itu?

お兄さんの目の前に日本人がいて、お金とかお金を得ることが一番大事って考えてて、でもそんなに幸せじゃないとしたら、それについてお兄さんの考えは？あるいはメッセージある？

Pendapat saya, misalkan ada orang jepang, yang katanya pekerjaan itu adalah segalanya karena kalau gak ini takut gak bahagia. Intinya karena pendapat saya intinya dia mungkin kurang bersyukur. [Dari Tuhan maksudnya] Iya. Kayak misalkan saya jualan hari ini sepi, tetap jalanin bersyukur, alhamdulillah udah dapat segini, mungkin hari esok bisa dapat lebih baik lagi iya kan? Pasti kan? Jadi jangan ngeluh, intinya jangan ngeluh lah kalau ngeluh kan kita juga bikin lemas juga kan? Kalau ngeluh juga yang penting kan termotivasi terus, besok pasti rame jadi biar kita juga semangat, badan gak lemas lah. Termotivasi, ya kan? Sering-sering baca motivasi di medsos, ya jadi semangat lah. Jiwa semangat lah.

僕の考えでは、例えばそうやって言ってる日本人がいたら、つまり仕事っていうのは全てだと、これがなかったら幸せじゃなくなるのが怖いと言っている。核になるのは、僕の考えでは、つまりは、彼は多分感謝が足りないんだよ。[神だよ、つまり。] うん。例えば、僕の仕事が今日静か（お客さん来ない）でも、感謝はするよ、これくらいは恩恵を受けられて良かった<sup>77</sup>って。多分明日はもっと良くなるでしょ？絶対でしょ？だから不満を言わないで、つまり、不満を言わないで、不満を言ったらだるいってなっちゃうでしょ？それに大切なのは明日絶対に盛況になるっていうようにモチベーションを保つこと。頑張ろうって思えて、身体がかたくなるようにね。モチベーションを保つんだよ、そうでしょ？すごくよくソーシャルメディアでもモチベーションを保つって読むよ、だから頑張るんだよ。頑張る心だよ。

R: Tapi kalau besok itu ano gak rame itu gimana?

でも明日盛況じゃなかったら（人が来なかったら）どうするの？

Kalau gak rame, emang tahu besok gak bakal rame? [Gak tahu] Ya gak tahu kan? Yang penting kan kita udah usaha dulu kan. Hasilnya kan ya gimana nanti, yang pentingnya udah usaha. Karena rezeki orang itu udah ada takwanya masing-masing. Yang penting kita udah berusaha.

---

<sup>77</sup> alhamdulillah は「神よ讃えられてあれ」「(神の恩恵を讃えて) お陰様で」との意味であり、ここでは意識として「恩恵を受けられて良かった」と訳した。

Iya kan? (Jadi pentingnya bukan hasil ya.) Bukan hasil. Kayak misalkan indomaret sama alfamart samping-sampingan kan di mana-mana kan? Tapi kan yang masuknya masing-masing kan? Ada yang masuk ke indomaret ke apa buka ya tukang toko-toko banyak, iya kan nasi goreng banyak kan. (Tapi kenapa datang kesini seperti itu ya.) Ya sudah masing-masing kan ada yang datang kesana, ya pokoknya jangan takut lah, yang pentingnya udah berusaha. (Jadi itu maksudnya keuangan itu dapat keuangan itu kayak hasil ya.) Iya. Kan gak segalanya bahagia itu karena uang. Pendapat saya. Iya kan ibaratnya istri anak aja, lihat ketawanya aja kan udah senang. Liat ketawanya kan? Iya bercanda-bercanda, senang lah pokoknya jalan kemana walaupun kalau ini jalan ke pasar malam anak mainin apa namanya komedi putar di pasar malam, tahu pasar malam? Kalau di Indonesia tahu gak pasar malam (Tahu tahu.) Main pertunjukan ya senang kan main jingkrak-jingkrakan udah senang itu bahagia kan? Itu aja udah bahagia apaan makan apa, gak harus mewah kan (Tahu cukup seperti itu ya.) Iya seperti itu. intinya bersyukur, intinya itu bersyukur. Ya kalau soal cukup mah ya gak bakalan cukup iya kan? Kaya..ini aja misalkan punya orang pengen punya rumah pasti pengen di apain di isi apaan gak ada puasnya. Gak ada ujungnya. (Kalau ada ini.) Oh ini ini ini. Misalkan pengen beli mobil sekarang beli Toyota Avanza, tetangga beli Pajero. Saya juga mau beli apaan lah. Gak ada ujungnya kan. Walaupun duit darimana darimana kan atau credit kan iya kan? Gak ada ujungnya kalau soal uang itu. Iya kan kebahagiaan itu gak harus diukur, patokannya gak uang kan? Contohnya gak jauh-jauh lah, contohnya pejabat kan? Pejabat pemerintah kebanyakan korupsi. Padahal gaji gede kan? Gak kayak ke saya pengen terus kan? Kayak saya disini kan penghasilan berapa hasilnya berapa kan yang penting kan kita bagaimana cara mensyukurinya. (Dan mereka gak bersyukur juga kan?) Iya intinya itu. Mungkin karena hawa nafsu, karena kebutuhan gaya hidup gitu. Kalau kita kan hidupnya makan di warteg, cuman seurip mah cukup, mereka kan di restoran gak mungkin dia makan di warteg. mentok-mentok kita makannya nasi padang, (Padahal lebih enakya warteg! ) Iya . (Ini untuk orang Jepang yang aku ya karena profesional kan kalau walteg atau grobak yang seperti ini, kalau nasi gorengnya nasi goreng profesional memang. Kalau resto itu gimana? Resto itu kan..) Sama profesional juga (tapi harus bikin yang jenisnya lebih banyak kan)Iya .(Jadi masing-masingnya memang bisa tapi secukupnya seperti itu) Iya. (Gak terlalu enak pendapat saya.) Jadi intinya ya kapanpun kerjanya yang gak segalanya dan bersyukur. (Dan juga cukup ya cukup.) Ya yang penting cukup.

もし賑わなかったらって、明日盛況かどうかなんて分かる？分からないでしょ？(分かんないね。) 分かんないよね？重要なのは、努力するのが先ってこと。その結果としてあとでどうなるかってこと、大切なのは、努力してるかだよ。その人の福はそれぞれの敬虔さにあるから。大切なのは努力しているかだよ。そうでしょ？(じゃあ重要なのは結果じゃないんだ

ね。] 結果じゃないよ。例えばインドマレットとアルファマート<sup>78</sup>が隣にあったりするじゃんどこでも。でも入る人たちはそれぞれじゃん？インドマレットに入る人もいるし、空いてる（カキリマとかの）沢山ある店に行く人もいる。そうでしょ、ナシゴレン屋沢山あるでしょ。[でもなんでここに来てくれるかってことね？] そう、それぞれの人のことでそっちに行ったり、とにかく怖いと思っただけじゃないよ、重要なのは努力しているかどうかだ。[じゃあつまりお金っていうのはお金を得るっていうのは結果みたいなものだね。] そう。全部が幸せにならないのはお金だからだよ。僕の考えでは、例えば妻や子供だよ、笑ってるのを見てるだけでも嬉しいよ。笑ってるの見るでしょ？冗談言ったりね、楽しいよ。とにかくどこに行くのだから、夜市に行くのでも、夜市の子供用カーセルで子供が遊んで、夜市分かる？インドネシアなら分かるよね？夜市。[知ってる知ってる。] ショーをしてる、楽しいでしょ、ぴよんぴよん飛び跳ねて遊んでるの、もう楽しいでしょ、幸せでしょ？それだけでもう幸せだよ。何を食べてても、豪華である必要はない。[十分 cukup を知ってるって感じね。] そう、そういう感じ。核となるのは、感謝すること、つまりは感謝だよ。事足りるってことについて言えば、絶対充足はしないでしょ？お金持ちの人... こうしよう、例えば、家欲しい人は絶対どんな物でも埋まらないよ、満足はしない。限界がないんだ。[もしこれがあったら] お、これもこれもこれもって。例えば今車欲しいってなってトヨタの Avanza を買って、隣人が Pajero を買ったなら、僕もそれ欲しいってなる。際限がないよ。どこからか色んなところからお金とかクレジットを得てもさ。際限がないんだよお金の場合は。そうでしょ？幸せは測る必要ないし基準はお金じゃないでしょ？例えば、そんなたいそうな話じゃなくて、例えば高官ね？政府の高官は多くが汚職してる。給料は多いのにでしょ？僕と違って欲し続けてるでしょ？ここは僕みたいに、所得がどうでも結果がどうでも大切なのはどうやってそれに感謝するかだよ。[彼らは感謝してないんだね。] そう、核となるのはそこ。多分欲望からか、ライフスタイルのニーズからかもしれないけど。僕たちは人生はワルテグ<sup>79</sup>で食べて、人生は十分なだけ。彼らはレストランで食べて、絶対にワルテグでは食べないよ。食べたとしてもナシパダンくらいじゃない。[ワルテグの方が美味しいのに！] うん。[これは日本人としての私の意見だけど、プロフェッショナルじゃん、ワルテグとかこういう屋台の人って、ナシゴレンだったらナシゴレンのプロ。レストランは...] 同じくプロフェッショナルじゃん。[でもよりたくさん種類を作らなければならないでしょ。] うん。[だからそれぞれはできるけど（美味しさは）十分なほどだけ。] うん。[美味しすぎるってことはないよ私の意見だけど。] だから核となるのは、いつでも仕事は全てじゃないし、感謝するってこと。[あと cukup だね cukup] そう、大切なのは cukup。

## その他のフィールドワークに関する聞き取りメモ

D さんに関して

<sup>78</sup> インドマレット (Indomaret) とアルファマート (Alfamart) はインドネシアで展開しているコンビニエンスストアの名前。

<sup>79</sup> ワルテグ (warteg) は warung Tegal の略で、「大衆食堂」のこと。

元々モデルをしていた。賞なども取っていた。賞を取ると1回で20,000,000ルピアほどもらえる。その大会が行われていた会場の所有者が声をかけてきて、ボディガードやらないかと言われた。「ビッグ・ボス」のボディガードをしないかと。当時、その「ビッグ・ボス」と呼ばれる彼は11人のボディガードを常に付けており、車で移動する時は3台使用する。真ん中の車には彼が乗り、前後にボディガードの車という状態だった。その時の方がお金はもらえていた。だが、今の方がより心地良い。他人に指図されない、決められない。ボディガードはそのボスのスケジュールで動くためそれには逆らえなかった。その後に靴磨き屋になった。趣味といった感じだそう。元々綺麗好きで、部屋とか綺麗にするの好きだったしその延長だと言う。また、そのボディガードをやっていた際に知った靴の磨き方とかも役に立っている。例えば、コットンに水を浸して、それでワックスを塗るといいらしい。油と水は弾き合うため、最終的に油（ワックス）だけがついて、水は落ちるという構造になる。皆それを知らずにタワシみたいな物で擦るが、それやると禿げるからやってはいけないとのこと。(2022年8月8日昼頃, 靴磨き屋にて)